

# 事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立伊豆総合高等学校

静岡県立伊豆総合高等学校土肥分校

# 目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	30
学校施設の概要	31
在籍生徒調	35
入学志願者及び入学者数調	37
卒業生の動向調	39
生徒の状況	43
授業料収納状況調	45
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	46
預 金 調	47
郵 券 等 受 払 調	47
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	48
委託料に関する調	49
負担金支出調	52
建築工事調	54
公有財産調	56
借地借家等調	58
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	60
行政財産貸付・使用許可調	61
普通財産・借受財産等貸付調	63
職員公舎管理状況調	64
主要備品調	65
職 員 調	66
職員の年齢調	69
健康管理	70

## 事務事業の概要

### 1 概況

#### (1) 学校の沿革

##### 【本校】

##### ア 本校の前史

##### (7) 静岡県立修善寺工業高等学校（伊豆市牧之郷892番地）

昭和10年4月10日	北狩野村立中堅農民学校開校（北狩野村柏久保）
昭和10年9月30日	北狩野村立中堅農民青年学校と改称
昭和16年4月1日	北狩野村外7か町村中豆農学校組合立中豆農学校として設立認可
昭和17年9月	現所在地に移転（修善寺町牧之郷）
昭和23年4月	静岡県に移管 静岡県立中豆農業高等学校と改称
昭和30年4月	静岡県立修善寺農林高等学校と改称
昭和32年4月	静岡県立修善寺高等学校と改称
昭和36年4月	静岡県総合開発計画に基づく高等学校課程の再編に伴い工業高校に転換 機械科2学級を設置し静岡県立修善寺工業高等学校と改称
昭和37年4月	電気科2学級設置
昭和43年4月	建築科1学級設置
昭和60年10月	創立50周年記念式典挙行
昭和63年4月	電子機械科1学級設置
平成3年4月	情報技術科1学級設置
平成17年4月	電子機械科募集停止
平成17年11月	創立70周年記念式典挙行
平成20年7月	学科改善により機械科を機械工学科へ 電気科を電気電子工学科へ 建築科を建築工学科へ 情報技術科募集停止
平成22年3月31日	静岡県立大仁高等学校との再編整備により閉校

##### (4) 静岡県立大仁高等学校（伊豆の国市大仁334番地）

大正8年4月16日	田方郡田中村外9か村学校組合立大仁実科女学校設置認可 開校（大仁町大仁 240 番地） 旧大仁裁縫女学校を仮校舎として授業開始
大正10年4月	校舎新築移転（大仁町大仁 334 番地）
大正11年4月	田方郡田中村外9か村学校組合立大仁高等女学校に組織変更
昭和3年4月	静岡県に移管 静岡県立大仁高等女学校と改称
昭和23年4月	新制高等学校となり、静岡県立大仁高等学校と改称 通信制課程設置
昭和23年9月	定時制課程設置
昭和24年4月	新制高等学校再配置により男女共学となる
昭和46年9月	創立50周年記念式典挙行
昭和49年3月	定時制閉校
平成20年7月	学科改善により普通科を総合学科へ 普通科募集停止
平成21年4月	総合学科定員1学年 160名
平成21年11月	創立90周年記念式典挙行
平成22年3月31日	静岡県立修善寺工業高等学校との再編整備により閉校

##### イ 本校の設立経緯

平成12年2月	県議会2月定例会において、大仁高等学校と修善寺工業高等学校の再編整備計画を公表
---------	---

平成17年3月	県教育委員会臨時会において、平成22年度を目途に再編整備することを決定
平成18年6月	県教育委員会定例会において、設置場所を修善寺工業高等学校の校地とすることを決定
平成21年3月	県議会2月定例会において、校名を「静岡県立伊豆総合高等学校」に決定

#### ウ 本校の沿革

平成22年4月1日	静岡県立伊豆総合高等学校開校 生徒定員 3学年 普通科 160名 機械科 40名 電気科 40名 建築科 40名 2学年 機械工学科 40名 電気電子工学科 40名 建築工学科 40名 総合学科 160名 1学年 機械工学科 40名 電気電子工学科 40名 建築工学科 40名 総合学科 160名
平成23年4月1日	総合学科学級数減 1学年定員 120名
平成29年4月1日	機械工学科、電気電子工学科、建築工学科を「工業科」に学科改善 1学年 工業科定員 120名 土肥分校を併置、本校1学年定員 240名（総合学科 120名、工業科 120名）
平成30年4月1日	工業学科学級数減 1学年定員 80名
令和4年4月1日	総合学科学級減 1学年定員 80名
令和6年4月1日	工業学科学級数減 1学年定員 40名
令和7年4月1日	総合学科学級減 1学年定員 40名

#### 【土肥分校】

##### ア 土肥分校の前史

静岡県立土肥高等学校（伊豆市土肥870番地の1）

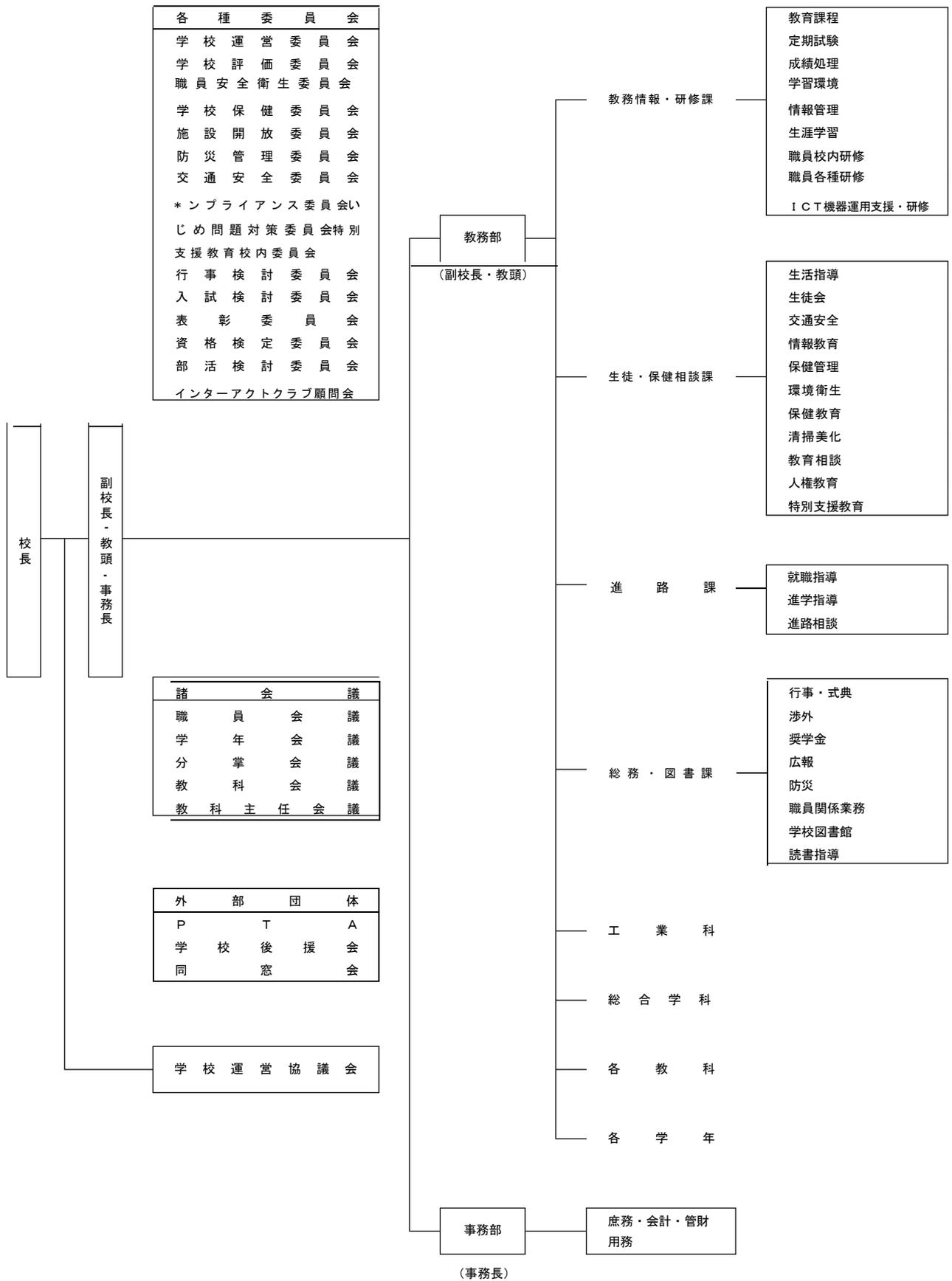
昭和30年5月1日	静岡県立松崎高等学校西伊豆分校土肥教場として発足
昭和34年4月1日	静岡県立松崎高等学校土肥分校となる
昭和40年10月4日	創立10周年記念式典挙行
昭和41年3月31日	静岡県立土肥高等学校となり、独立校第1回卒業式挙行
昭和47年4月1日	商業科2学級新設
昭和49年4月1日	普通科2学級新設
昭和49年9月28日	創立20周年記念・校舎完成・運動場完成式典挙行
平成5年4月1日	普通科1学級となり、普通科定員 43名、商業科定員 86名
平成6年4月1日	普通科定員 42名、商業科定員 84名
平成7年4月1日	普通科定員 41名、商業科定員 82名
平成8年4月1日	普通科定員 40名、商業科定員 80名
平成12年4月1日	商業科1学級となり、普通科定員 40名、商業科定員 40名
平成16年4月1日	普通科定員 35名、商業科定員 35名
平成17年10月7日	創立50周年記念式典挙行
平成26年9月24日	再編整備計画に伴う将来計画（分校化計画）を県教委が公表
平成28年4月20日	県教育委員会定例会にて再編整備計画に伴う学校名を静岡県立伊豆総合高等学校土肥分校に決定
平成29年3月31日	静岡県立伊豆総合高等学校土肥分校となるため閉校

##### イ 土肥分校の沿革

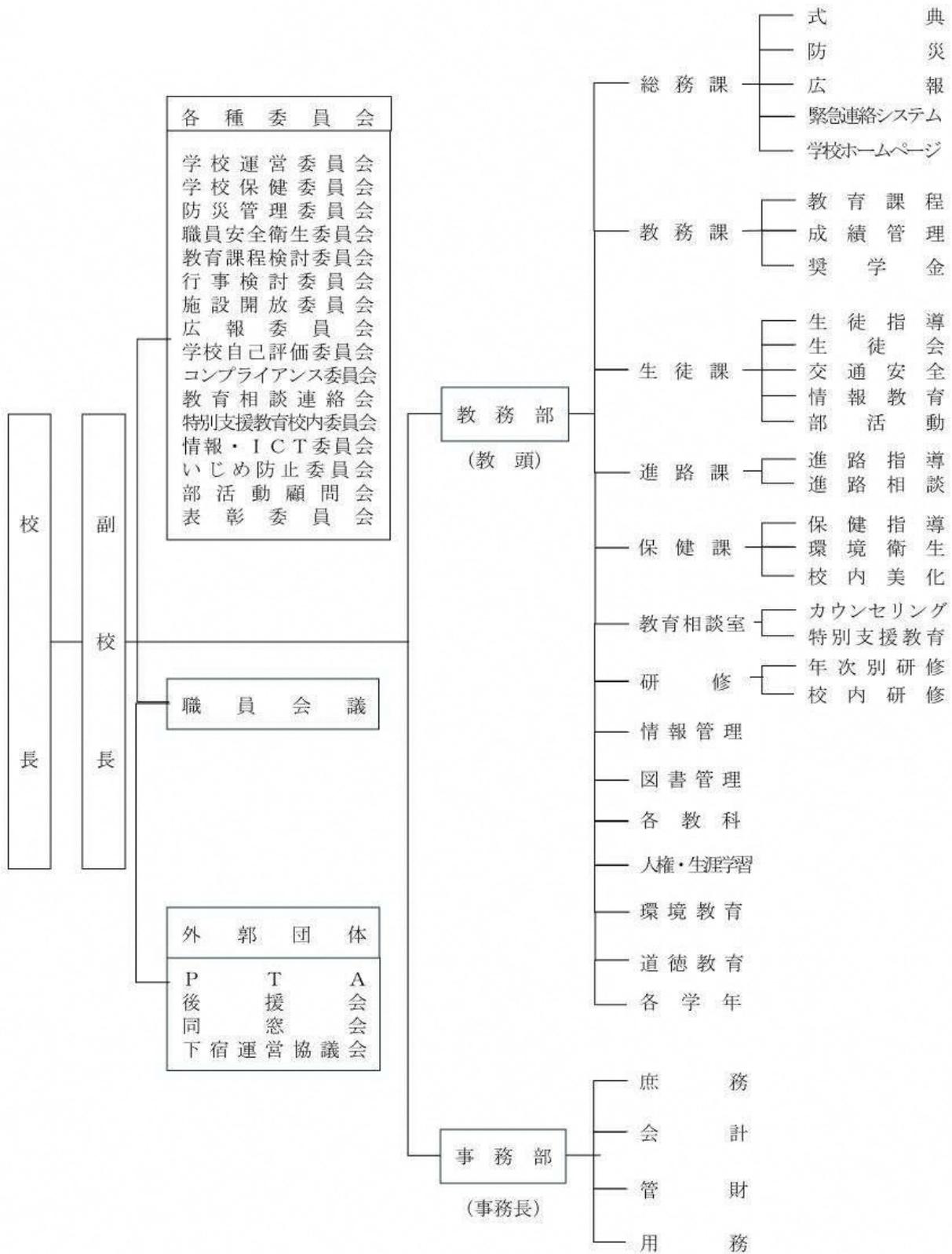
平成29年4月1日	静岡県立伊豆総合高等学校土肥分校開校 商業科募集停止、普通科定員 35名
令和3年4月1日	下宿生受入れ

(2) 組織図

【本校】



【土肥分校】



## 2 目指す学校像

### 【本校】

#### 1 スクール・ミッション

県内唯一の総合学科と工業科の併設校として、「課題解決学習」や「ものづくり」など生徒一人一人の個性を大切にしながら多様な体験的・実践的な学習を通して、地域の産業・文化・歴史を理解し、その発展に貢献できる人材の育成を目指す。

## 2 目指す学校像

### (1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働的な学びを通して、地域社会の問題に目を向け、地域に貢献できる能力の育成【共通】</li> <li>・基礎的、基本的学習習慣や生活習慣、コミュニケーション能力等、社会的自立に向けた能力の育成【共通】</li> <li>・高い専門性と実践スキルを身につけ、専門技能が切り開く多様な進路を実現する能力の育成【工業科】</li> <li>・課題解決型の学習を通して身につけた力によって、自らの進路を切り開くことができる能力の育成【総合学科】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の興味関心や進路希望に応じ学科や教科横断、外部連携等多様で柔軟な教育課程を編成する【共通】</li> <li>・「実習」や「課題研究」等を通じて、他者と協働する姿勢を培い、社会人としての基礎力と専門的な知識技能を養う教育課程を編成する【工業科】</li> <li>・「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」等を通じて、課題解決やコミュニケーション、プレゼンテーションスキル等、社会に求められる素養の定着を図る教育課程を編成する【総合学科】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会の問題に目を向け、将来地域に貢献する意欲に富む生徒【共通】</li> <li>・自分の生き方を真剣に模索し、目標実現に向けて努力を惜しまない生徒【共通】</li> <li>・多様な他者を理解、尊重し、協働した学びに向かうことのできる生徒【共通】</li> <li>・ものづくりに興味・関心を持つ生徒【工業科】</li> <li>・自分の興味・関心を持つ分野について幅広く追究したいと考える生徒【総合学科】</li> </ul>

### (2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 基本的生活習慣を身に付け、主体的に行動できる生徒の育成。
- イ 学習における基礎基本の定着と主体的な学習活動の推進。
- ウ 人権意識の涵養に努め、思いやりのある豊かな心を育む。
- エ 個に応じたきめ細かな指導を充実させ、適切な進路の実現。
- オ 地元自治体、学校、企業、地域等との連携を深め、開かれた学校づくりの推進。
- カ 各学科の教育内容の改善を通して、特色ある教育の一層の推進。
- キ 防災教育・環境教育・社会貢献活動の推進及び教育環境の整備・充実。
- ク 業務の効率化、適正化による、生徒と向き合う時間と教職員の心理的安全性の確保。

## 【土肥分校】

### 1 スクール・ミッション

小規模校ならではの手厚い指導のもと、一人ひとりが主役となり輝く学校として、西伊豆地域の自然環境を生かした体験活動を通して新しい自分を発見し、自己肯定感と自己有用感を育むことで自信を持って社会にはばたく生徒の育成を目指す。

### 2 目指す学校像

#### (1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
・知・徳・体のバランスがとれており、「規範意識や問題解決に向けての協働」といった、将来社会において必要となる資質・能力を身に着けた生徒	・地域学習や自然体験、マリン学習等をとおして挑戦する気持ちや主体性を育む。 ・授業や学校行事、総合的な探究の時間において、自分の意見や考えをまとめ、発表するなど、自己表現の機会を作る。 ・小規模校の特徴を生かした学習指導と進路指導を行う。	・人の話を素直に聞き、前向きに取り組もうとしている生徒。 ・自己を向上させるために、失敗を恐れず積極的に取り組もうとしている生徒。

#### (2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 教育相談機能の発展的継続により、生徒のこころの安定とからだの成長を図る。
- イ 生徒一人ひとりに対応した学習指導、進路指導体制の確立を図る。
- ウ 学校行事や体験学習の充実と精選を図り、自己肯定感、自己有用感を育む。
- エ 家庭との連携強化を図る。
- オ 地域、本校、異校種との連携、協働を推進する。
- カ 校務、学校行事等の見直し、精選を行い、勤務の環境を整える。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

【本校】

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	<p>基本的な生活習慣を身に付け、主体的に行動できる生徒の育成。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶、環境美化、時間を守る意識をもった生活ができた生徒80%以上</li> <li>・服装・頭髪のルールを守ることができた生徒80%以上</li> <li>・情報モラルを理解して、スマートフォン等の情報機器を使用している生徒80%以上</li> <li>・健康面の自己管理をし欠席・遅刻・早退をしないよう意識して学校生活を送れている生徒90%以上</li> <li>・朝食摂取率98%以上</li> <li>・治療勧告の受診率50%以上</li> <li>・自転車交通事故、年3件以内</li> <li>・学校行事を積極的に行う生徒85%以上</li> <li>・部活動が充実し前向きな活動ができている生徒80%以上</li> </ul>	<p>「あいさつができる。」91.9%  「ゴミは正しく捨てている。」98.0%  「時間を守って生活できている。」96.6%  「服装・頭髪のルールを守って生活できている」95.2%  90%を上回る生徒が、校内生活では生徒自ら丁寧なあいさつができ、正しい服装で生活ができている。  また、ごみ捨てなど環境の美化にも努めることができた。(生徒)  「情報機器は、ルールやマナーを守って使用している。」96.9%  授業やクラスでの情報モラル啓発を行うことで、96.9%の生徒が正しく使用することができた。(生徒)  一人一台端末の初期設定で、情報モラルに関する指導を実施。情報モラルの理解は高まっている。(教務)  「健康面の自己管理ができている」93.6%  Cラーニングで生活チェックを三年間続けたおかげか、皆勤率が高い。(教務)  朝食摂取率95%程度。  1年生が低い傾向。  治療勧告受診率平均50%程度。診療科目により格差あり。(視力検査32%、歯科検診14%) (保相)  2件の自動車との軽度な接触事故があった。(生徒)  「学校行事に積極的に参加している。」90.9%  「部活動に積極的に参加している。」88.0%</p>	B	<p>授業やホームルーム等での繰り返しの啓発、全職員による継続的な取り組みができている。さらに生徒会が主体となって規範意識を高める取組みを工夫したい。(生徒)</p> <p>生徒が学校の基本的な生活に達成感を持つことができている。(1年)</p> <p>ネットパトロールからの問題となるような指導はほとんどなくなっている。(生徒)  生徒は、一人一台端末を安全に留意して活用している。  パスワードの管理についての指導方法を検討継続。  Googleや生徒共有のマニュアル化が必要。(教務)  生徒がスマホに時間を取られ、家庭学習時間の減少につながっている。(教務)</p> <p>生徒の「遅刻」増加(教務)  昨年度に比べて欠席は少なくなってきたが、遅刻が増えた。休まずに学校に来る意識は向上したが、自己管理に関しては改善すべき現状がある。(2年)  朝食欠食について、例年並み。保護者を巻き込んだ対策を実施したい。  治療勧告受診率は、眼科、歯科が低い傾向。う歯について、ほとんどの生徒は無し又は治療済み。少数の生徒が複数未治療を抱える。衛生観念が低い生徒が一部いる。(保相)  朝食摂取以外は目標値を超えている。(3年)</p> <p>行事の運営面でも生徒が主体となり、工夫を凝らして、充実した内容とすることができた。部活動では多くの生徒が積極的に参加し充実したものとなるように工夫したい。(生徒)</p>

イ	学習における基礎基本の定着と主体的な学習活動の推進。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で力が付いたと感じる生徒90%以上</li> <li>・授業において基礎基本を大切に、深い学びをつくりたいと感じる教員80%以上</li> <li>・週5日以上、家庭学習をする生徒の割合60%以上</li> <li>・朝読書を通して読書の魅力や楽しさを実感できた生徒70%以上</li> </ul>	<p>「授業に意欲的に取り組んでいる」91.5% 「授業を通して力がついた」90.5%</p> <p>観点別評価について、実践例を提示し、深い学びの指導方法を提案、共有。生徒アンケート、教員アンケートともに高評価が90%以上。</p> <p>特に、基礎学習の力がない生徒を、細やかな指導で授業に追いつくように指導できている。(教務)</p> <p>「授業において深い学びをつくりたい」教員97.3%</p> <p>基礎基本を重視した授業を実施した。(工業・国語)</p> <p>生徒間の対話を授業に多く取り入れた。自らで問いを立てさせた。(地歴)</p> <p>外部講師招聘も含めて実学としての教科の基礎基本を指導できた。(商業)</p> <p>試験の点数には個人差があるが、授業に向かう姿勢は比較的良好だった。(理科)</p> <p>進路実現のための授業づくりや探究する力に繋げる実験の導入を行った。</p> <p>生徒の達成感となる自ら答えを導出できる声掛けを行った。</p> <p>科学的に探究する授業として、身近な現象を取り入れた授業を展開することができた。(理科)</p> <p>小テストなどを通して、基礎基本が身に付きつつある。(数学)</p> <p>「週5日以上家庭学習をしている。」47.3% 「朝読書を通して読書の楽しさを実感できた。」74.5%</p>	<p>教員が、生徒の実情に合わせて基礎基本を重視した指導方法を工夫した結果、生徒は学力の向上を実感できた。(工業)</p> <p>情報では急速な時代変化に対応した授業が必要(商業)</p> <p>基礎力定着に課題がある。特定の生徒が発表することが多いため、対話的学習を通し、考えを深め、考えを発表する場面を増やしていく。(理科)</p> <p>総合学科の特色である多様な科目があることを活かした、教科横断的な授業づくりが課題である。(総合)</p> <p>指導方法改善手法の共有化が課題。(工業)</p> <p>授業方法の工夫の共有が進んでいる。課題は、深い学びをつくる指導方法の共有のさらなる促進。上位の生徒の進学や資格取得への意識向上が必要。(教務)</p> <p>ズームやオンデマンドなど個に応じた授業に対応できた。</p> <p>新しい教育課程や教員減になる中で、きめ細やかな指導をしていく工夫が必要となる。(理科)</p> <p>家庭学習を全くしない生徒に学習習慣を定着させるのが課題である。(国語)</p> <p>家庭学習の習慣がなく、積み重ねの学習を行うのが難しい。(数学)</p> <p>70%以上の生徒が朝の読書を通して読書の魅力や楽しさを実感できるよう指導したい。(図研)</p>
ウ	人権意識の涵養に努め、思いやりのある豊かな心を育む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部支援員との連携を行い、迅速かつ組織的な対応</li> <li>・アンケート内容を分析し、適切な指導につなげる</li> <li>・人権意識を持って教育活動を行っている教員100%</li> <li>・人権を意識して他者と接するようにしている生徒70%以上</li> </ul>	<p>SCの活用。延べ46名の生徒・保護者・教員が対談した。(12月現在)。</p> <p>校内研修により、特性のある生徒への理解啓発ができた。</p> <p>特別支援学校C.o.、SSW、市町児童相談室との連携を行った。(保相)</p> <p>「人権意識をもって教育活動を行っている。」教員100% 「相手の人権を意識するようにしている。」生徒93.2%</p>	<p>SC、巡回通級指導講師、特別支援学校C.o.の授業参観を実施。当事者だけでなく周囲の状況を全体的に捉え指導に活かすことができた。(保健)</p> <p>おおむねの生徒が相手の人権を意識した行動ができているが、その場の感情で、心無い言葉が出てしまう場面も見受けられる。</p> <p>通級指導やカウンセラーの支援を活用し、組織的な対応ができた。(2年)</p> <p>声を掛け合っている様子が見られる。相手の気持ちを考えて行動することができている。(1年)</p>

<p style="text-align: center;">エ</p>	<p>個に応じたきめ細かな指導を充実させ、適切な進路の実現。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は進路実現に向けて、きめ細やかな進路指導を行っている と答える生徒、保護者80%以上</li> <li>・「産業社会と人間」「未来伊豆探究」「キャリア設計」における外部連携授業の複数回実施</li> <li>・商工会、法人会との連携を複数回実施</li> <li>・就職希望内定100%</li> <li>・国公立大学進学複数名、進学未定者ゼロ、公務員試験合格者輩出</li> <li>・検定試験や資格取得のための学習を通して学びが深まった生徒85%以上</li> </ul>	<p>「丁寧な進路指導を行っている。」生徒92.2%</p> <p>「きめ細やかな進路指導を行っている。」保護者88.6%</p> <p>「産業社会と人間」では、昨年に続き企業主催のプレゼン大会に向けての、探究的な学習を行った。「未来伊豆探究」では地域の企業にインタビューを行ったり、マナー講座を企業にお願いし実施したりした。 (総合)</p> <p>未来伊豆、キャリア設計における外部連携授業複数回実施(3年、2年) 地域の企業団体の授業を取り入れた。(理科)</p> <p>商工会、法人会との連携を2回実施。(進路)</p> <p>伊豆の国市商工会との意見交換会を実施。(工業)</p> <p>就職希望内定100%</p> <p>国公立大学3名合格 公務員3名合格</p> <p>12月末時点での進路決定率97.9%(進路)</p> <p>「検定試験や資格取得を通し学びが深まった」79.6%</p> <p>1年生は検定試験の全員受検(計算技術検定3、4級のいずれか合格95.1%)、2・3年生は、類型専門技術と関係する国家資格等を受験し多数合格者あり。(工業) 電気工事や電気保安について、関電工および関東電気保安協会より講師招聘。(工業)</p> <p>漢字検定は年に3回実施。準2級2名、3級1名が合格した。(国語) 世界遺産検定実施。(地歴) 数学検定実施。(数学)</p> <p>資格取得に意欲的に取り組む生徒は例年程度あった。(商業)</p>	<p>細かな進路指導を行い、結果としてもおおむね目標を達成できた。(3年)</p> <p>進路実現に向けての指導に関しては、進路課と連携し、年間を通じて体系的に実施することができた。(2年)</p> <p>進路ガイダンスや進路アンケート、面談などを通して生徒一人ひとりの進路に合わせた適切な指導ができています。また進路を考える材料が整わずにいる生徒もいるため、進路の情報を継続して伝えていく必要がある。(1年)</p> <p>外部と連携した授業を行ったことで、生徒の進路等への意識の変化を促せた。ただ、例年に比べ、特に1年次での外部との連携が少なかった。内容も含め、検討が必要である。(総合)</p> <p>伊豆市や地域と連携し、生徒の主体的な活動を引き出すことができた。(地歴)</p> <p>外部連携に関しても学びの状況に合わせて、適度実施することができ生徒の学びにつなげることができた。(2年)</p> <p>地域との連携は、生徒、保護者と教員との意識の違いがある。教員から見るとさらに連携を深くしていく必要があると思われる。(3年)</p> <p>合格を目指して学習する中で、生徒同士での学びのつながりができていた。(1年)</p> <p>総合学科生徒の検定や資格取得支援を考える必要がある。(1年)</p> <p>一生懸命取り組む生徒と、そうでない生徒との差が激しく、資格取得を促すような雰囲気作りができなかった。(2年)</p> <p>すべての生徒に資格取得への取組の意義を実感させ、取り組ませる工夫が必要。(工業)</p> <p>引き続き資格の意義を説明していきたい。(商業)</p> <p>受験者を増やすこと、合格率を上げることが課題である。(国語)</p>
--------------------------------------	------------------------------------	--	---	---

オ	<p>地 元 自 治 体、学 校、企 業、地 域 等 と の 連 携 を 深 め、開 か れ た 学 校 づ くり の 推 進。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部との連携授業を通して学びが深まったと感じる生徒85%以上</li> <li>学校は様々な教育活動において、積極的に自治体や学校、企業、地域等との連携をしていると感じる保護者80%以上</li> <li>PTA活動を理解し、協力している保護者70%以上</li> <li>行事終了後、学校HPを更新する</li> <li>学校公式SNSを月10件以上投稿する</li> </ul>	<p>「連携授業等を通して学びが深まった。」 90.5% 「授業や行事等で積極的に連携している。」保護者95.6%</p> <p>プロフェッショナルへの道、工場見学・現場見学、電気安全教室、発電所見学、静岡どぼくらふ他外部講師を招請した授業展開を実施。(工業)</p> <p>観光ビジネスにおいて地域の魅力を発見し発表できた。(商業)</p> <p>「PTA活動を理解し協力している。」保護者67.5%</p> <p>各PTA行事では役員から運営有志を募ったが、積極的な参加が多数あった。(総務)</p> <p>新HPへのシステム移行作業を完了し、HPカテゴリ別に記事更新担当分掌を決定した。(総務)</p> <p>SNS投稿おむね良好。(総務) 総合学科の特色ある授業を学校公式SNSに投稿した。(総合)</p>	<p>A</p> <p>実際の業務で活躍している講師の指導を受けることで、専門科目の学習に対する必要感が向上した。(工業)</p> <p>地域の企業や団体が授業に関して協力をしてくれる機会が多かったが、なかなか活かしきれなかったことが課題である。(総合) 継続した関係ができるようにしたい(商業)</p> <p>新しい工業科に対応した内容の取捨選択が必要。(工業)</p> <p>クラス減に伴う会員数の減少に対応し、行事と役割分担、委員会、役員数の見直しを行った。(総務)</p> <p>記事の更新がタイムリーかつスムーズに行われるよう、担当分掌に声掛けとサポートを行う。(総務)</p> <p>総合学科として月1回程度特色ある授業をSNSに投稿した。(総合) Instagramに工業技術基礎などの、工業科特有の授業について投稿できた。(工業)</p>
カ	<p>各 学 科 の 教 育 内 容 の 改 善 を 通 じ て、特 色 あ る 教 育 の 一 層 の 推 進。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジオパーク学習に満足している生徒85%以上</li> <li>工業科目の授業を通して、ものづくりに興味・関心を持ち、専門的な知識技能が身に付いたと感じる生徒80%以上</li> <li>「産業社会と人間」、「未来伊豆探究」の授業を通して、進路意識や地域への理解が深まり、将来社会で必要とされる能力が身に付いたと感じる生徒85%以上</li> <li>アドバンスクラスを主体とした探究</li> </ul>	<p>「ジオパーク学習に満足した」98% 「ジオパークについて勉強になった」96% 「ものづくりに興味関心を持った」95.1% 「専門的な知識技能が身についた」95.1%</p> <p>実習や課題研究において、ものづくりの楽しさを実感できるテーマを設定し実施できた。(工業)</p> <p>「地域への理解が深まった。」91.7% 「社会で必要とされる能力が身についた。」92.7%</p> <p>「アドバンスでの学習を通して力がついた」94.9%</p> <p>アドバンスについては他のクラスより受験を意識し、難しい題材を扱った。課題など、Cラーニングを用いた。(数学)</p> <p>アドバンスクラスの授業では、自分の考えをまとめ、発言する機会を取り入れる工夫を行った。(理科)</p> <p>「研修等がスキルアップにつながった」教員86.5%</p>	<p>A</p> <p>最新設備を活用したものづくりの授業が定着しており、高品質な製品を製作できることが、知識技能の向上に貢献している。 ICT機器を活用し、わかりやすい授業や生徒が主体的に活動する学習が展開されている。(工業)</p> <p>生徒は、専門的な学習に大変満足している。積極的に検定を受けていることから、各教科の授業に意欲的に取り組んでいることが伺える。(1年)</p> <p>設備の使用方法や安全教育に関する情報の共有化をすすめることが課題。(工業)</p> <p>外部の協力もあり、進路意識や地域への理解が向上していると感じる。卒業生等にも協力してもらい授業を実施した。(総合)</p> <p>未来伊豆探究では、卒業レポートのテーマ設定や探究度合いが、例年よりも深まっているように感じる。(3年)</p>

	<p>学習や個別指導を実施し、該当生徒の満足度80%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修や公開授業週間を通してスキルアップに繋がったと感じる教員80%以上</li> <li>・ICT機器を活用した授業を実践している教員60%以上</li> </ul>	<p>校内授業見学週間は年2回実施した。(図研)</p> <p>「ICTを活用した授業を実践している。」教員81.0%</p> <p>ICT機器を使いやすい通信環境や備品を整備し、多くの教員が、プロジェクトやPC、タブレットを活用した授業を実践している。(教務)</p> <p>C-ラーニングでの課題回収や評価、百問繚乱による採点補助が定着してきた。(国語)</p> <p>ICT機器を使用し、生徒に効果的に画像や動画などの教材を示すことができた。</p> <p>生徒にICT機器を利用した発表の場を設けた。(地歴) (理科)</p>	<p>アドバンスクラスは2年次からの編成になるが、生徒の学びの意欲や進路意識を他のクラスより高めることができた。(2年)</p> <p>アドバンスに対して、どこまで学習を求めるのか、また評価にどう組み込むのかを考える必要がある。(数学)</p> <p>次年度も校内授業見学週間を年2回実施し、スキルアップに繋がるよう推進したい。(図研)</p> <p>プレゼン能力や資料作成能力が向上した。(地歴)</p> <p>わかりやすい授業実践の情報が蓄積している。(教務)</p> <p>ICT技術のノウハウを教科内で共有していくことが必要である。(国語)</p> <p>ICT機器の常設が特別教室においても必要である。(理科)</p> <p>教員間での情報の共有化が課題。(教務)</p>
キ	<p>防災教育・環境教育・社会貢献活動の推進及び教育環境の整備・充実。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練等の防災教育は、災害発生時に必要だと感じる生徒80%以上</li> <li>・清掃活動にしっかり取り組んでいる生徒85%以上</li> <li>・危険個所の早期発見・早期対応</li> <li>・施設・設備の不備による事故発生0件</li> <li>・設備及び備品の有効活用</li> <li>・校内外の社会貢献活動(ボランティア活動)に、自主的に取り組んだ生徒60%以上</li> </ul>	<p>「避難訓練は必要だ」96.3%</p> <p>「清掃活動にしっかり取り組んでいる」97.6%</p> <p>学期末大掃除は、内容を少しずつ変えながら実施。清掃場所分担についても見直しをした。美化委員会では、大掃除の準備片付け、行事のごみ処理等、役割を遂行した。(保相)</p> <p>施設の修繕については発見・報告を受け次第、迅速に対応した。</p> <p>設備の点検・調整を必要に応じて行い、安全に使用できるよう努めた。(事務)</p> <p>校内備品等使用調査で判明した不用品についてはリユース希望者を募って調整し、有効活用できた。(事務)</p> <p>防災設備点検に同道。設備操作と管理システムの理解を深めた。又、総務課職員で共有を促した。(総務)</p> <p>「年間1回以上、ボランティア活動に参加」70.1%</p> <p>修善寺大掃除を毎月(8月を除く)実施することができた。延べ約500人の参加者が集まった。(生徒)</p>	<p>大掃除については、定着し校内美化に努めることができた。清掃用具の管理点検は、今後も引き続き実施する。</p> <p>清掃場所分担については、引き続き工夫が必要。(保相)</p> <p>令和6年度における施設・設備の不備による事故は発生していない。</p> <p>生徒定員減に伴い、経営予算のシーリングがさらに進む可能性があるため、設備ごとの点検調整のスパンについて、今まで以上の計画的執行が求められる。</p> <p>A 実施したところ大変効果的であったため、頻度は別途検討するとして、今後も無理のない程度に実施したい。(事務)</p> <p>有事においてスムーズな対応ができるように全職員に対する防災設備機器の操作取り扱い方法の伝達研修が必要。(総務)</p> <p>社会貢献活動へ積極的に参加しようとする意欲が高まってきている。今後も生徒が主体となり社会性の向上に努めていけるような工夫を考えていきたい。地域の団体や特別支援学校との連携ができたことは良かった。本校の活動が地域にも浸透していることを感じる。次年度に向けて連携の方法や内容の工夫を検討していきたい。(生徒)</p>

ク	<p>業務の効率化、適正化による、生徒と向き合う時間と教職員の心理的安全性の確保。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身が関係する業務において、精選と効率化が図れたと感じる教員70%以上</li> <li>・生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員70%以上</li> <li>・職場の風通しが良く、心理的安全性が確保されていると感じる教員70%以上</li> </ul>	<p>「業務の精選と効率化を図れた。」教員91.9%</p> <p>「生徒と向き合う時間が確保されている。」教員78.4%</p> <p>「心理的安全性が確保されている。」教員89.1%</p>	B	<p>生徒定員減に伴い、教員数も減少する中で、個々の負担感を軽減するため、チームとしての取り組みを強化する必要がある。個々の先生方が、学習指導や生徒指導に十分な時間と労力が割けるように、体制を整えていきたい。（管理職）</p>
---	---	---	---	---	---

【土肥分校】

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	教育相談機能の発展的継続により、生徒のこころの安定とからだの成長を図る。	年間2回の校内研修の実施。	第1回：個別の指導計画について（12月） 第2回：障害理解と支援について（2月）	A	来年度は年度の初めに研修を行うことで、研修の内容を年度内で教職員が活かせるよう計画したい。
		月間1回の教育相談連絡会実施。生徒アンケート「困ったときに相談できる人がいる」の“当てはまる”が80%以上。	当てはまる88%	B	全教職員の日々の手厚い支援のおかげで目標を達成することができた。来年度は、様々な困り感を抱えている生徒に対応できるよう、教育相談連絡会が、生徒対応や支援方法を協議する場として機能させる必要がある。
		生徒アンケートで「学校や社会のルールやマナーを守って行動している」が95%以上、保護者アンケートで「土肥分校生は、挨拶や言葉遣い等がしっかりと出来ている」と地域アンケートで「本校生徒の服装・頭髪等は高校生らしいと思います。」が75%以上。	生徒アンケート 当てはまる90% 保護者アンケート 当てはまる74% 地域アンケート 当てはまる84%	B	生徒自身がルールを決める取り組みを強化したい。
		新体力テスト8種目中4種目で、前年度（1年生は春）の記録を更新した生徒が60%以上。	記録更新71.8%。	A	記録更新71.8%。今年度は1年生の記録更新割合が大きかった。楽しめるトレーニング方法を検討したい。
		1日3回の食事を摂り生活リズムを作る。朝食摂取率80%以上。定期的な生活実態調査で、実態を把握する。健康講座を通して健康への関心を高め、健康な生活を実践できるよう継続的に指導する。毎日、6時間以上寝ている生徒80%以上。毎日、規則正しく生活している生徒70%以上。	朝食摂取率80% 毎日6時間以上寝ている生徒70% 規則正しい生活をしている生徒65%	B	朝食摂取率は年度後期にかけて改善することができた。睡眠時間が不十分な生徒が多いため、睡眠の重要性に気付く講座や教科と連携した取り組みをしていく必要がある。規則正しい生活をする生徒の割合を増やすために、日々の健康観察や生徒の学校生活の充実を図っていく必要がある。

イ	生徒一人ひとりに対応した学習指導、進路指導体制の確立を図る。	生徒アンケートで「学校は、進路について計画的に指導している」が80%以上、「進路行事によって、将来の仕事への意識が高まった」が80%以上。	「学校は、進路について計画的に指導している」 当てはまる88% 「進路行事によって、将来の仕事への意識が高まった」 当てはまる80%	B	今後も個別指導を中心として、進路決定に向けた活動をしていきたい。 また、上級学校、企業から直接お話を伺う機会を増やすことによって、生徒らの進路選択の幅を広げるとともに、自己理解を深める手助けをしていきたい。
		生徒アンケートで「本校入学後、学力が向上した。」”当てはまる”が60%以上	当てはまる71%	A	過去3回の中ではもっともよい結果となった。今後も観点別評価が生徒の学習改善につながられるように取り組んでいく
		生徒アンケート「授業の内容がよくわかる」の“当てはまる”が80%以上。	当てはまる85%	A	よく当てはまるの結果が、昨年度26%から大幅に改善。生徒が自身の成長を実感でき、結果につながるような働きかけを実践していく。
		生徒アンケートで「朝読書・朝学習の時間を有効に使っている」が80%以上	当てはまる78%	B	一日の学習を落ち着いて始めるための良い時間だった。(2年部) 基礎学力の定着を狙い、SPIの問題集に取り組んできたが、生徒たちには難しい内容だったようだ。生徒たちの学習レベルに合わせながらも、進路実現にむけた学習を進めていくことが望ましい。 もしくは、生徒たちに時間の使い方を任せてしまってもよかったのかもしれない。(3年部)
ウ	学校行事や体験学習の充実と精選を図り、自己肯定感、自己有用感を育む。	生徒アンケート「学校行事に満足している」が80%以上	当てはまる83%	A	生徒会を通じて、主体的に取り組む意識を高められた。この取り組みを継続・発展させたい。
		「土肥分校入学後、様々な活動をすることによって、少しずつ自分に自信が持てるようになった」が70%以上	当てはまる88%	A	学校生活のいろいろな場面において、生徒一人ひとりに活躍の場を与えることができた。今後も生徒一人ひとりに目を向けて行事等を行っていく。(教務課) TOIゼミの活動の中で、進路活動としてのソーシャルスキルトレーニングや複数で課題の解決にあたるような活動

					を増やすことによって、“進路実現”を目標にしながらも、社会生活に必要な能力を育成することができ、土肥分校生が苦手としている“対人能力”が向上することで“自己肯定”にも繋がるのではないかと考える。(進路課)
		生徒アンケート「学校生活が楽しい」の“当てはまる”が80%以上。	当てはまる85%	A	土肥分校入学生には不登校生徒も多く、学校行事に参加してこなかったり、クラブ活動、委員会活動に一切関わってこなかったりしたことがある。そのため、これまでやってこなかったことに挑戦してみると、生徒たちは自分の成長を感じられるのではないだろうか。「新しいことに挑戦する」ことを極端に嫌う生徒が多いため、教員は指導が大変だが、背中を押してあげることも必要なかもしれない。(3年部)
エ	家庭との連携強化を図る。	保護者アンケートにおいて「学校は保護者や地域との連携を深め、保護者や地域の理解を得ている。」が80%以上。	当てはまる78%	B	P T A模擬店やマラソン大会の監察の保護者参加率は下がり、新たな形を検討する必要があるか。マチコミ、SNS等での連携を強化していく。
		保護者アンケートで「学校はホームページや土肥高通信、学年だより、学級通信等で、生徒の様子をよく伝えている」70%以上。	当てはまる70%	A	学校ホームページを刷新し、SNSを通じて生徒の様子などを積極的に発信した。今後も継続していく。
オ	地域、本校、異校種との連携、協働を推進する。	地域住民アンケートで「土肥高通信を読んだことがある」が80%以上。	当てはまる85%	A	全職員で協力して取り組むことで、今年度は定期的に発行することができた。
		生徒アンケートで「地域の活動に参加した」または「本年度、ボランティア活動に参加した」が50%以上。	当てはまる58%	A	ボランティア委員の意欲的な姿勢と、周囲への呼びかけのおかげで目標を達成できた。

オ	地域、本校、異校種との連携、協働を推進する。	生徒アンケートで「災害が起きた時の準備や心構えができています。」が80%以上。	当てはまる63%	B	自衛隊による防災講座を実施したり、地域防災訓練への参加を呼び掛けたりしたが、まだ十分に準備や心構えができていない生徒もいる。自分の防災対策や発災時の避難行動を発表するなど、自分事として考えるような機会が必要か。
		生徒アンケートで「本校との交流について、積極的に参加して成長することができた。」が60%以上。	当てはまる63%	A	本校の部活動参加1名（硬式野球部）。部活動参加の素地を作ることができた。
カ	校務、学校行事等の見直し、精選を行い、勤務の環境を整える。	勤務超過時間年間360時間以内	勤務超過時間年間360時間以上0名	A	適切に年休など取得することも含め、今後も職員の勤務環境の整備にあたりたい。
		法定安全点検を実施し、学校施設における事故発生数を0件。	各学期において、安全点検の実施等を行った。	B	事故発生に至らないが、老朽化に伴い修繕すべき箇所があるため、予算がつき次第修繕を行いたい。
		職員安全衛生委員会の月1回程度開催、職場の健康づくり講座の開催、教育DXの推進。	職員安全衛生委員会を毎月1回開催し、職場及び職員の健康・安全について話し合うことができた。	B	月に1回話し合いの機会を設けることで職員の共通認識のもと、よりよい職場環境の形成に向けて効果的に動くことができた。課題としては、委員会の活動の一環として行った職場の健康づくり講座の参加率が低く、開催時期や周知方法等について再度検討する必要がある。

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

【本校】

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
ア	基本的生活習慣を身に付け、主体的に行動できる生徒の育成。	集会や授業、HRにおいて、挨拶、環境美化、時間を守る指導を行う。 服装・頭髪指導の徹底。	挨拶、環境美化、時間を守る意識をもった生活ができた生徒90%以上、服装・頭髪のルールを守ることができた生徒90%以上
		スマートフォン等情報機器使用のモラル指導を行う。	情報モラルを理解してスマートフォン等の情報機器を使用している生徒90%以上
		主体的な自己管理・健康管理の啓発。	健康面の自己管理をし、欠席・遅刻・早退をしない意識で学校生活を送っている生徒90%以上
			朝食摂取率98%以上、治療勧告の受診率50%以上
		交通安全講習実施による安全意識の高揚。	自転車交通事故、年3件以内
		主体性を育む特別活動の充実及び部活動の活性化。	学校行事を積極的に行う生徒85%以上、部活動が充実し前向きな活動ができている生徒80%以上
イ	学習における基礎基本の定着と主体的な学習活動の推進。	PBL学習、ICT活用等、主体的な学習の推進と一層の授業改善。 「高校生のための学びの基礎診断」の測定ツールを活用した生徒の学力測定と指導の検証・改善。	授業で力が付いたと感じる生徒90%以上 授業において基礎基本を大切にし、深い学びをつくり上げていると感じる教員90%以上
		授業外学習の充実と学習の振り返り、検定試験の積極的受験。	週5日以上、家庭学習をする生徒の割合60%以上
		図書館の有効活用と朝読書指導の更なる充実	朝読書を通して読書の魅力や楽しさを実感できた生徒70%以上
ウ	人権意識の涵養に努め、思いやりのある豊かな心を育む。	教育相談室・スクールカウンセラー・保健室及び外部機関との適切な連携指導。	外部支援員との連携を行い、迅速かつ組織的な対応
		生活アンケートの実施。	アンケート内容を分析し、適切な指導につなげる
		人権意識や思いやりの心をはぐくむ教育の充実。	人権意識を持って教育活動を行っている教員100% 人権を意識して他者と接するようにしている生徒90%以上
エ	個に応じたきめ細かな指導を充実させ、適切な進路の実現。	系統的なキャリア教育の推進	学校は進路実現に向けて、きめ細やかな進路指導を行っていると感じる生徒、保護者85%以上 「産業社会と人間」「未来伊豆探究」「キャリア設計」における外部連携授業の複数回実施
		企業研究やインターンシップの実施。	商工会、法人会との連携を複数回実施 就職希望内定100%
		国公立大学等の進学、公務員志望者への指導の充実。	国公立大学進学複数名、進学未定者ゼロ、 公務員試験合格者輩出

		各種検定試験・資格取得の奨励。	検定試験や資格取得のための学習を通して学びが深まった生徒85%以上
オ	地元自治体、学校、企業、地域等との連携を深め、開かれた学校づくりの推進。	工業科、総合学科それぞれの特徴を生かした地域連携を行い、各学科の学びの魅力を外部へ発信する。	外部との連携授業を通して学びが深まったと感じる生徒85%以上 学校は様々な教育活動において、積極的に自治体や学校、企業、地域等との連携をしていると感じる保護者85%以上
		P T A活動の一層の活性化。	P T A活動を理解し協力している保護者70%以上
		学校HPの更新とSNSを利用した情報発信の充実。	行事終了後、学校HPを更新する 学校公式SNSを月10件以上投稿する
カ	各学科の教育内容の改善を通して、特色ある教育の一層の推進。	ジオパーク学習の実施、地域学の推進。	ジオパーク学習に満足している生徒85%以上
		工業科の魅力化に向けて、「キャリア設計」、「実習」、「課題研究」等を通じて、専門的な知識技能を養う。	工業科目の授業を通して、ものづくりに興味・関心を持ち、専門的な知識技能が身に付いたと感じる生徒85%以上
		総合学科の特色化に向けて、「産業社会と人間」、「未来伊豆探究」の系統的な学びと魅力化。	「産業社会と人間」、「未来伊豆探究」の授業を通して、進路意識や地域への理解が深まり、将来社会で必要とされる能力が身に付いたと感じる生徒85%以上
		アドバンスクラスの充実。	アドバンスクラスを主体とした探究学習や個別指導を実施し、該当生徒の満足度90%以上
		校内研修と公開授業週間の充実。	校内研修や公開授業週間を通してスキルアップに繋がったと感じる教員80%以上
		I C T機器の効果的な活用。	I C T機器を活用した授業を実践している教員80%以上
キ	防災教育・環境教育・社会貢献活動の推進及び教育環境の整備・充実。	実行力のある防災教育の充実。 清掃活動の徹底による良好な学習環境の実現。	避難訓練等の防災教育は、災害発生時に必要だと感じる生徒85%以上 清掃活動にしっかり取り組んでいる生徒85%以上
		定期点検の実施、情報共有の徹底。 備品現有調査の早期実施。	危険個所の早期発見・早期対応により、施設・設備の不備による事故発生0件 設備及び備品の有効活用
		社会貢献活動（ボランティア活動）の充実。」	校内外の社会貢献活動（ボランティア活動）に、自主的に取り組んだ生徒70%以上
ク	業務の効率化、適正化による、生徒と向き合う時間と教職員の心理的安全性の確保。	各分掌、学年、教科等の年間を見通した業務の精選と効率化を図る	自身が関係する業務において、精選と効率化が図れたと感じる教員80%以上 生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員80%以上
		教職員間の風通しを良くするため、コミュニケーションの時間の確保	職場の風通しが良く、心理的安全性が確保されていると感じる教員80%以上

【土肥分校】

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
ア	教育相談機能の発展的継続により、生徒のこころの安定とからだの成長を図る。	教員が高等学校における特別支援教育について研修し、個に応じた支援の充実を図る。	特別支援教育について年間2回の校内研修の実施。
		教職員と外部支援員（SC、SSW等）が連携し、早期支援・早期対応を実現することで、生徒の成長を見守る。また、定期的に教育相談連絡会を開催し、その内容を全教員で共有する。さらに、いじめ防止対策も含め、生徒の変化に対して早期発見・早期対応することができるよう取り組む。	教育相談連絡会の月間1回の実施。生徒アンケート「困ったときに相談できる人がいる」の“当てはまる”が80%以上。 年2回の生徒アンケートや、生徒からの申し出によるいじめ事案の早期発見・早期対応の実施。
		学校や社会のルールやマナーの大切さを伝え、生徒の規範遵守への意識を高める。	生徒アンケートで「学校や社会のルールやマナーを守って行動している」が95%以上、保護者アンケートで「土肥分校生は、挨拶や言葉遣い等がしっかりと出来ている」と地域アンケートで「本校生徒の服装・頭髪等は高校生らしいと思います。」が75%以上。
		体育的行事や授業等の教育活動全般を通じて、自主的、積極的に運動に取り組む姿勢と基礎体力の向上を図る。	新体力テスト8種目中4種目で、前年度（1年生は春）の記録を更新した生徒が60%以上。
		食事や睡眠など規則正しい生活習慣を確立し、心身ともに健康で安定した学校生活を送る。	1日3回の食事を摂り生活リズムを作る。朝食摂取率90%以上。定期的な生活実態調査で、実態を把握する。健康講座を通して健康への関心を高め、健康な生活を実践できるよう継続的に指導する。毎日、6時間以上寝ている生徒80%以上。毎日、規則正しく生活している生徒70%以上。
イ	生徒一人ひとりに対応した学習指導、進路指導体制の確立を図る。	進路指導計画に基づいて、生徒一人ひとりに対応した指導内容の充実を図る。	生徒アンケートで「学校は、進路について計画的に指導している」が80%以上、「進路行事によって、将来の仕事への意識が高まった」が80%以上。
		育てたい生徒像に向けた、授業の展開を目指す。生徒の学力を的確につかみ、指導の検証、改善に結び付け、生徒の学習改善につながる観点別評価を確立する。	生徒アンケートで「本校入学後、学力が向上した。」”あてはまる”が60%以上
		生徒にとって分かりやすい授業を行う。	生徒アンケート「授業の内容がよくわかる」の“当てはまる”が80%以上。

		朝読書・朝学習の時間を有効に使い落ち着いた授業態度を養うとともに、学習習慣を身につけさせる。	生徒アンケートで「朝読書・朝学習の時間を有効に使っている」が80%以上
ウ	学校行事や体験学習の充実と精選を図り、自己肯定感、自己有用感を育む。	輝潮祭、マリン実習等の行事について、目的や実施方法の観点から充実を図る。	生徒アンケート「学校行事に満足している」が80%以上
		TOIゼミなど、体験型や課題解決型の学習を通して、自己のあり方生き方を考え、社会性を育む。	「土肥分校入学後、様々な活動をする事によって、少しずつ自分に自信が持てるようになった」が70%以上
		学校生活を通して、自己肯定感や社会性を育み、自己表現方法を身に着ける。	生徒アンケート「学校生活が楽しい」の“当てはまる”が80%以上。
エ	家庭との連携強化を図る。	学校、家庭が連携し、共に生徒を育てる関係を築く。	保護者アンケートにおいて「学校は保護者や地域との連携を深め、保護者や地域の理解を得ている。」が80%以上。
		学校ホームページや各種便り、学校の取組や魅力を随時、地域や家庭に発信する。	保護者アンケートで「学校はホームページや土肥高通信、学年だより、学級通信等で、生徒の様子をよく伝えている」70%以上。
オ	地域、本校、異校種との連携、協働を推進する。	土肥高通信を発行し、学校の様子や生徒の活躍を地域の回覧板を利用して広報する。	地域住民アンケートで「土肥高通信を読んだことがある」が80%以上。
		地域の防災訓練等の地域行事や、ボランティア活動に参加し、地域住民から生き方等を学ぶ機会をつくる。	生徒アンケートで「地域の活動に参加した」または「本年度、ボランティア活動に参加した」が50%以上。
		防災訓練・防災学習を実施し、自助共助の精神を養い防災意識と知識の向上を図る。	生徒アンケートで「災害が起きた時の準備や心構えができています。」が80%以上。
		本校・分校間の行事連携など他との連携を通して、参加だけでなく表現も行うことで、視野を広げ、充実感や達成感を与える。	生徒アンケートで「本校との交流について、積極的に参加して成長することができた。」が60%以上。
カ	校務、学校行事等の見直し、精選を行い、勤務の環境を整える。	振替、割振の取得を徹底するとともに、勤務時間の著しい超過が起きないように配慮する。	勤務超過時間年間360 時間以内
		内外の安全点検を定期的実施し、危険個所の迅速な把握及び改善に努める。	法定安全点検の実施し、学校施設における事故発生数を0件。
		教職員が、心身ともに健康で、元気に働ける職場環境を形成する。	職員安全衛生委員会の月1回程度開催、職場の健康づくり講座の開催、教育DXの推進。

4 監査対象期間における特色ある取組

【本校】

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	<p>○商業の選択科目では、「情報処理」や「マーケティング」の授業でICTエキスパート、「ビジネス法規」の授業では裁判官など、多様な人材を活用した授業を行った。</p> <p>○「観光ビジネス」の授業では、地域にゆかりのある文豪井上靖に関連する施設での生徒によるガイド活動や地域の金属加工工場に「蝶番」を活用した新たな商品の開発など、地域の企業などと連携した活動を積極的に行った。</p> <p>○保育体験実習の一環で、工業科の生徒がオリジナルの「積み木」を製作し、園にプレゼントした。</p> <p>○部活動で、地域の複合施設と連携し、「オリジナルおむすび」の開発に取り組んでいる。開発したおむすびは、文化祭で販売し、複合施設の店舗でも販売した。</p>	<p>○外部の人材を積極的に活用することで、教科書の知識だけではない、より実践的で深い知識を身につけた。</p> <p>○地域の企業との連携を通し、新たな地域の魅力を発見し、地域を愛する心をはぐくむ。同時に、自らの考えが形になったり、自らの行動が評価される経験をしたりすることを通して、自己肯定感を伸ばし、学習への意欲を向上させた。</p> <p>○地域の子供たちとの交流から「思いやり」の心を育て、自身の学習（実習）の成果を形にすることから達成感や自己肯定感を育み、「工業」「ものづくり」への興味関心を醸成した。</p> <p>○地域の人たちとの交流の中から一つのものを作り上げる活動の中で、地域理解や地域貢献の心を深めると同時に、「やりがい」を感じることで、学校生活への意欲につながる、自己肯定感や向上心を育んだ。</p>
令和7年度	<p>○地域と自分の未来、伊豆地域の産業、地域活性化計画。</p> <p>○工業で学んだ技術を生かした、ものづくりでの地域貢献。</p> <p>○土肥分校と連携したICT技術を活用した学習機会の提供の研究。</p> <p>○地域との協働による「修善寺大掃除」活動。</p> <p>○インターアクトクラブ活動による地域貢献。</p>	<p>○地域の企業や人材と協働し、生徒自身が自分事として地域活性化の計画、地域イベント等に参加し実践を行う。</p> <p>○ものづくりを生かした貢献をするとともに地域と協働して製品企画等を行う。</p> <p>○遠隔授業システムを活用した学習機会を担保できるような実践を行う。</p> <p>○地域のロータリークラブと連携し指導者養成講座への参加と県内外の高校との交流を図る。</p>

【土肥分校】

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	<p>○地域性を生かし、オンリーワンハイスクール事業で行った水泳訓練に代わるマリンスクールを昨年に引き続き、内容を精選して行った。</p> <p>○地域学習の一環として昨年行っていた1年生の林業体験は今年度より東部農林事務所との連携ができなかったため、地域の文化や自然を学ぶ遠足とした。</p> <p>○遠隔授業（地歴・公民科）を継続実施している。</p>	<p>○地域資源を生かした活動であるため、学校の魅力化・特色化につながっている。課題としては活動の日程によって、天候などの影響により実施が難しいことがあるため、実施の判断について十分検討して行う必要がある。</p> <p>○西伊豆町の自然や文化を学ぶことにより、地域の良さを知ることができた。今後の探究活動などで、魅力化を発信する手立てを考えることにつながる。</p> <p>○今年度は、各教科1人制のために複数教科を担当する教員の負担軽減の観点より、地歴科目を2科目行った。今後さらに遠隔授業の可能性を探る必要がある。</p>
令和7年度	<p>○台湾の高等学校との交流会を行い、生徒が地域の観光名所を案内することを通して、国際交流を行った。</p> <p>○伊豆市及び(一財)地域魅力化プラットフォームと連携して他県から5人の中学生を招き、オープンキャンパス参加や下宿宿泊体験を含む、一泊二日の体験入学会を実施した。</p> <p>○総合教育センターからの授業配信を受け、「物理基礎」(2単位)を設置し、5名の生徒が履修している。本校からの遠隔授業配信で「科学と人間生活」を実施している。</p>	<p>○生徒の視野を広げることができた。SNSを通して事後の交流も図っている。単発の行事としてではなく、機会があれば継続的な受け入れを行ってみたい。</p> <p>○在校生が丁寧に対応したことで、参加した5人の中学生は本校と土肥地域に好印象を持ってくれた。県外生徒特色選抜の受検者を増やすことに繋げたい。</p> <p>○専門の教員による指導で、生徒は興味を持って取り組んでいる。来年度は「物理」の履修を希望する生徒が出ているため、実施に向けて調整中である。</p>

5 教職員について

(1) 令和7年度異動状況

【本校】

職名 区分	本務職員										臨時・会計年度任用職員										小計	合計				
	教育職員					行政職員					本務職員計	教諭(臨)	養護教諭(臨)	主事(臨)	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤労務職員	外国語指導講師	スクールカウンセラー	ジョブサポートティーチャー			兼務講師			
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	主任														主事	小計	
転出者		1	1	6			8		1			1	9											0	9	
退職者				2			2					0	2	2			6	2	1			2			13	15
再任用(退職)				1			1					0	1												0	1
転入者		1	1	3			5			1		1	6												0	6
新任者							0					0	0	2	1	8	1	1			1	1			15	15
再任用(新任)				1			1					0	1												0	1
差引増減	0	0	0	▲5	0	0	▲5	0	▲1	1	0	0	▲5	0	0	1	2	▲1	0	0	▲1	1	0	0	2	▲3

【土肥分校】

職名 区分	本務職員										臨時・会計年度任用職員										小計	合計				
	教育職員					行政職員					本務職員計	教諭(臨)	養護教諭(臨)	主事(臨)	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤労務職員	外国語指導講師	スクールカウンセラー	スクールソーシャルワーカー			兼務講師			
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	主任														主事	小計	
転出者		1		2			3					0	3												0	3
退職者				1			1					0	1								1		2	3	4	
再任用(退職)							0					0	0												0	0
転入者		1		2			3					0	3												0	3
新任者				1			1					0	1								1		2	3	4	
再任用(新任)				1			1					0	1												0	1
差引増減	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

(2) 現員数(令和7年9月30日現在)

【本校】

職名 区分	本務職員										臨時・会計年度任用職員										小計	合計			
	教育職員					行政職員					本務職員計	教諭(臨)	養護教諭(臨)	主事(臨)	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤労務職員	外国語指導講師	スクールカウンセラー	ジョブサポートティーチャー			兼務講師		
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	主任														主事	小計
計	1	1	1	34	1	2	40	1	0	5	0	6	46	3	0	1	16	0	3	1	1	1	0	26	72
	再任用教諭(フル) 5人					再任用主任(フル) 1人																			
	再任用教諭(ハーフ) 1人																								

【土肥分校】

職名 区分	本務職員										臨時・会計年度任用職員										小計	合計			
	教育職員					行政職員					本務職員計	教諭(臨)	養護教諭(臨)	主事(臨)	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤労務職員	外国語指導講師	スクールカウンセラー	スクールソーシャルワーカー			兼務講師		
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	主任														主事	小計
計	0	1	1	10	0	0	12	0	0	2	0	2	14	0	1	0	6	0	2	0	1	1	2	13	27
	再任用教諭(フル) 2人																								

(3) 健康管理について

【本校】

- ア 健康の保持増進を図るため、定期健康診断の全員受診を推進し、疾病の早期発見・早期治療に努めている。
- イ 再検査や精密検査が必要となった教職員に対し、早期受診を呼びかけている。
- ウ 健康上心配がある教職員については、健康管理医に相談し指導を受けている。
- エ 定時退勤日及び退勤3人ルールの推進、積極的な休暇取得によるワークライフバランスの実現、メンタルヘルス対策、ストレスチェック等、教職員の健康管理に配慮している。

【土肥分校】

- ア 健康の保持増進を図るため、定期健康診断の全員受診を推進し、疾病の早期発見・早期治療に努めている。
- イ 再検査や精密検査が必要となった教職員に対し、早期受診を呼びかけている。
- ウ 健康上心配がある教職員については、健康管理医に相談し指導を受けている。
- エ 定時退勤日の設定、積極的な休暇取得によるワークライフバランスの実現、メンタルヘルス対策、ストレスチェック等、教職員の健康管理に配慮している。

(4) 教職員の研修について

【本校】

令和6年度	目的	学校が意識する課題の共有・改善や学校経営計画書の目標具現化の推進のため、職員向けの研修、指導力（教科指導力・生徒指導力）の向上、学校課題の共有と改善を行う。
	研修内容及び成果	<p>① 新学習指導要領の施行にともなう情報の共有化 （グランドデザイン、学習評価など）</p> <p>② ICTを利用した教育の研究の推進 （GIGAスクール、Cラーニングなど）</p> <p>② 勇気づけ教育の継続と職員のニーズに合った校内研修の充実以上の3点をテーマに研修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員向け求人管理システムの運用（5月）</li> <li>・ 授業見学週間・ICT活用、観点別評価の授業実践（6月）</li> <li>・ 「勇気づけ教育と生徒支援」研修（8月）</li> <li>・ 「観点別学習状況の評価」研修（10月）</li> <li>・ 授業見学週間・ICT活用、観点別評価の授業実践（11月）</li> <li>・ 「就職試験・上級学校入試関連連絡会」研修（3月）</li> <li>・ 次年度研修計画策定（3月）</li> </ul> <p>学級減に伴う工業科の再編により、学校の「グランドデザイン」に修正を施した。目の前の指導に対する研修とともに、学校のあり方について考える研修を行った。</p>
	課題	職員が負担感を抱かず主体的に研修に臨めるよう、職員が必要を感じる研修テーマの設定、効率的で効果的な手法について研究し、研修を計画・実施すること。
令和7年度	目的	学校が意識する課題の共有・改善や学校経営計画書の目標具現化の推進のため、職員向けの研修、指導力（教科指導力・生徒指導力）の向上、学校課題の共有と改善を行う。
	研修内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICTを利用した教育の研究の推進</li> <li>・ 勇気づけ教育の継続と職員のニーズに合った校内研修の充実</li> </ul> <p>以上をテーマに、以下のように研修を実施、計画している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校現場で使用する著作物についてのリスクと対策についての研修（5月）</li> <li>・ 授業見学週間・ICT活用、観点別評価の授業実践（6月）</li> <li>・ 「勇気づけ教育と生徒支援（特別支援教育の観点から）」研修（8月）</li> <li>・ 「観点別学習状況の評価」研修（10月）</li> <li>・ 授業見学週間・ICT活用、観点別評価の授業実践（11月）</li> </ul> <p>工業科と総合学科が1クラスずつの小規模な学校になり、その中に特別な支援が必要な生徒が増加している現状を踏まえて生徒にとって有用な学校であることを目指した学校づくりの視点を職員全体が共有できるような研修を行っている。</p>
	課題	多様な生徒が入学する学校となり、その特別な支援に対して慣れていない教職員の意識改革と、それに対する負担感と業務の多忙感を緩和していかなければならない。

【土肥分校】

令和6年度	目的	「生徒の資質・能力を伸ばしていくために、特別活動をデザインする」を研修テーマに、現在の特別活動を事前・事後に検討することで、土肥分校生が資質・能力を伸ばすうえで適切な特別活動に改良していく。												
	研修内容及び成果	<p>令和5年度の振り返りをもとに、生徒に意識させる部分を確認し、事後に伸ばしたい資質・能力についてその想定が適切であったかどうかについて振り返りを行った。</p> <p>例年に倣い、校内研修計画を企画し、資質向上に取り組んだ。</p> <table border="1"> <tr> <td>- 校内研修のための研究授業</td> <td>年1回（11月）</td> </tr> <tr> <td>- 授業検討研修</td> <td>年1回（11月）</td> </tr> <tr> <td>- 教育相談、特別支援研修</td> <td>年3回（6月、12月、2月）</td> </tr> <tr> <td>- 救急救命法研修</td> <td>年1回（8月）</td> </tr> <tr> <td>- 防災学習</td> <td>年1回（12月）</td> </tr> <tr> <td>- 避難訓練</td> <td>年2回（5月、12月）</td> </tr> </table>	- 校内研修のための研究授業	年1回（11月）	- 授業検討研修	年1回（11月）	- 教育相談、特別支援研修	年3回（6月、12月、2月）	- 救急救命法研修	年1回（8月）	- 防災学習	年1回（12月）	- 避難訓練	年2回（5月、12月）
	- 校内研修のための研究授業	年1回（11月）												
- 授業検討研修	年1回（11月）													
- 教育相談、特別支援研修	年3回（6月、12月、2月）													
- 救急救命法研修	年1回（8月）													
- 防災学習	年1回（12月）													
- 避難訓練	年2回（5月、12月）													
課題	生徒の資質・能力を高めるため、生徒に意識させる部分を意図して実施することや、また、生徒の変化を正確に見取り、その結果を深く検証することが難しい。													
令和7年度	目的	「生徒の資質・能力を伸ばしていくために、特別活動をデザインする」を研修テーマに、現在の特別活動を事前・事後に検討することで、土肥分校生が資質・能力を伸ばすうえで適切な特別活動に改良していく。												
	研修内容及び成果	<p>令和6年度の振り返りをもとに、生徒に意識させる部分を確認し、事後に伸ばしたい資質・能力についてその想定が適切であったかどうかについて振り返る。</p> <p>例年に倣い、校内研修計画を企画し、資質向上に取り組んでいる。</p> <table border="1"> <tr> <td>- 校内研修のための研究授業</td> <td>年1回（11月）</td> </tr> <tr> <td>- 授業検討研修</td> <td>年1回（11月）</td> </tr> <tr> <td>- 教育相談、特別支援研修</td> <td>年2回（6月、12月）</td> </tr> <tr> <td>- 救急救命法研修</td> <td>年1回（7月）</td> </tr> <tr> <td>- 防災学習</td> <td>年1回（12月）</td> </tr> <tr> <td>- 避難訓練</td> <td>年3回（5月、8月、12月）</td> </tr> </table>	- 校内研修のための研究授業	年1回（11月）	- 授業検討研修	年1回（11月）	- 教育相談、特別支援研修	年2回（6月、12月）	- 救急救命法研修	年1回（7月）	- 防災学習	年1回（12月）	- 避難訓練	年3回（5月、8月、12月）
	- 校内研修のための研究授業	年1回（11月）												
- 授業検討研修	年1回（11月）													
- 教育相談、特別支援研修	年2回（6月、12月）													
- 救急救命法研修	年1回（7月）													
- 防災学習	年1回（12月）													
- 避難訓練	年3回（5月、8月、12月）													
課題	生徒一人ひとりに合わせた活動を行うために、活動の目的や方法について、各教員が理解することの大切さを感じている。特に特性を持った生徒に対する指導について、苦慮する場面がみられる。													

6 防災対策について

【本校】

令和6年度	目的	大規模地震や豪雨災害、土砂災害等への防災能力・防災体制を整える。そのために、より効果的で実践的な訓練を計画・実施し、高校生が自らの身を守りつつ、地域防災の担い手として役割を果たせるようにする。
	内容及び成果	1学期は5月に学校裏手での土砂災害発生を想定し、本校舎2階以上のHR教室への集合及び地区別集合の訓練を行い、その後静岡県東部地域局の方による防災講話を実施した。2学期は、9月に大規模地震の発生を想定したグラウンドへの全校避難訓練を実施した。その後、帰宅時の安全を考え、居住地区ごとに集合する訓練も行った。12月には、昨年に引き続き、消防署と連携した消火器の使用や応急手当の方法などの訓練も盛り込み、より実践的な、火災発生を想定した避難訓練を計画している。 危機管理マニュアルについては、実情に合わせたさらなる改訂を予定している。
	課題	実践的で効果的な避難訓練の在り方を検討・実施し、実情に合わせた危機管理マニュアルの改訂を随時行っていく。防災訓練をとおして、教職員・生徒全員の危機管理の意識向上を図り、災害時の行政・地域との協力体制を充実させる方法についても考えていく。
令和7年度	目的	大規模地震や豪雨災害、土砂災害等が起こることが予想されるため、個々の防災能力を高め、組織としての防災体制を整える。効果的で実践的な訓練を計画・実施し、高校生が自らの身を守りつつ、地域防災の担い手になれるようにする。
	内容及び成果	学校周辺の土砂災害発生を想定し、本校舎2階以上の教室への集合及び地区別集合の訓練を行った。県東部地域局による防災講話により俯瞰的で実践的な観点で防災について考えた。大規模地震の発生を想定したグラウンドへの全校避難訓練を実施し、帰宅時の安全を考え、居住地区ごとに集合する訓練を行った。消防署と連携した消火器の使用や応急手当の方法などの具体的な訓練により実践的な火災発生を想定した避難訓練を行っている。
	課題	通学区域が広域であるため有事の際の対応に一律の対応ができない可能性がある。長期的な災害対応が必要になった場合の人的なリソースの不足が予想される。職員が広域から勤務しており、伊豆市在住の職員だけでは緊急対策要員が不足している。危機管理マニュアルの改訂は随時見直しを行っているが、実際の場面では人員不足が露呈する場面があると考えられる。 7月の国外での大地震による津波の可能性への対応と9月の台風接近による大雨のため交通機関の不通への対応では実情に即した最善の策を講じることしかできない状況だった。

【土肥分校】

令和6年度	目的	地域防災の担い手になれるような防災教育を行う。防災意識を高めるとともに防災の知識を蓄え、自ら判断・行動できるようにし、日頃からの備えや安全行動をとれるようになる。
	内容及び成果	1学期の防災訓練は地震・津波避難を行い、地区ごとのメンバーと帰宅について確認をした。8月の地震・火災避難訓練は、天候悪化のため行うことができなかったが、12月に行う地震・津波避難訓練において確認した。 また、同様に地域で行う予定であった総合防災訓練も中止となったところが多いため、地域防災訓練に積極的にさらに参加するよう促した。
	課題	今年の能登半島沖地震による災害の大きさをニュース等で理解したと思われる。自らの判断で行動できるようになるため、日ごろから防災意識を高めるとともに防災の知識を蓄え安全行動がとれるようにする。折に触れ危機意識を持って生活するようさらに意識づけが必要である。
令和7年度	目的	地域防災の担い手になれるような防災教育を行う。防災意識を高めるとともに防災の知識を蓄え、自ら判断・行動できるようにし、日頃からの備えや安全行動をとれるようになる。
	内容及び成果	1学期の防災訓練は地震・津波避難を行い、地区ごとのメンバーと帰宅について確認をした。8月の地震・火災避難訓練でも、生徒の意識づけを行い、12月に行う訓練では、地震・津波に加え、土砂災害による被害も想定した内容とする予定である。
	課題	近年増加する自然災害による被害の大きさを受け、生徒が自らの判断で行動できるようになるため、日ごろから防災意識を高めるとともに防災の知識を蓄え安全行動がとれるようにする必要がある。折に触れ危機意識を持って生活するよう訓練の内容を工夫していく必要がある。

7 学校開放について

【本校】

令和6年度

施設名	利用種目	利用日数	利用者数(延)	利用者負担金
体育館	レスリング	100日	2,390人	27,208円
	バレーボール	27日	401人	3,912円
	バドミントン	84日	612人	20,207円
グラウンド	野球	11日	367人	0円
合計		222日	3,770人	51,327円

令和7年度(令和7年9月30日現在)

施設名	利用種目	利用日数	利用者数(延)	利用者負担金
体育館	レスリング	47日	1,147人	12,035円
	バレーボール	21日	262人	2,793円
	バドミントン	46日	306人	9,123円
グラウンド	野球	3日	62人	0円
合計		117日	1,777人	23,951円

【土肥分校】

令和6年度

施設名	利用種目	利用日数	利用者数(延)	利用者負担金
体育館	バスケットボール	30日	244人	10,853円
体育館	バレー	1日	6人	363円
グラウンド	駅伝	38日	503人	15,724円
武道場	アームレスリング	21日	207人	5,276円
武道場	トレーニング	6日	14人	1,387円
合計		96日	974人	33,603円

令和7年度(令和7年9月30日現在)

施設名	利用種目	利用日数	利用者数(延)	利用者負担金
体育館	バスケットボール	13日	77人	4,312円
体育館	トレーニング	1日	8人	321円
グラウンド	駅伝	26日	274人	11,043円
武道場	アームレスリング	22日	245人	4,878円
合計		62日	604人	20,554円

## 事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関すること	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、 第52条、第56条、第57条、第59条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立学校管理規則 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令 産業教育振興法（第18条） 産業教育振興法施行令
2 学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第12条、第60条、第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 教育公務員特例法（第21条～第24条） 学校保健安全法（第5条、第15条、第27条） いじめ防止対策推進法（第8条） 学校図書館法（第3条、第4条、第5条） 静岡県立学校管理規則 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県教育委員会処務規程 静岡県教育委員会事務決裁規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県手数料徴収条例 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 高等学校遠距離通学費補助金交付要綱 静岡県情報公開条例施行規則 静岡県個人情報保護条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 社会教育法（第43条、第45条、第47条）

## 学校施設の概要

(本校)

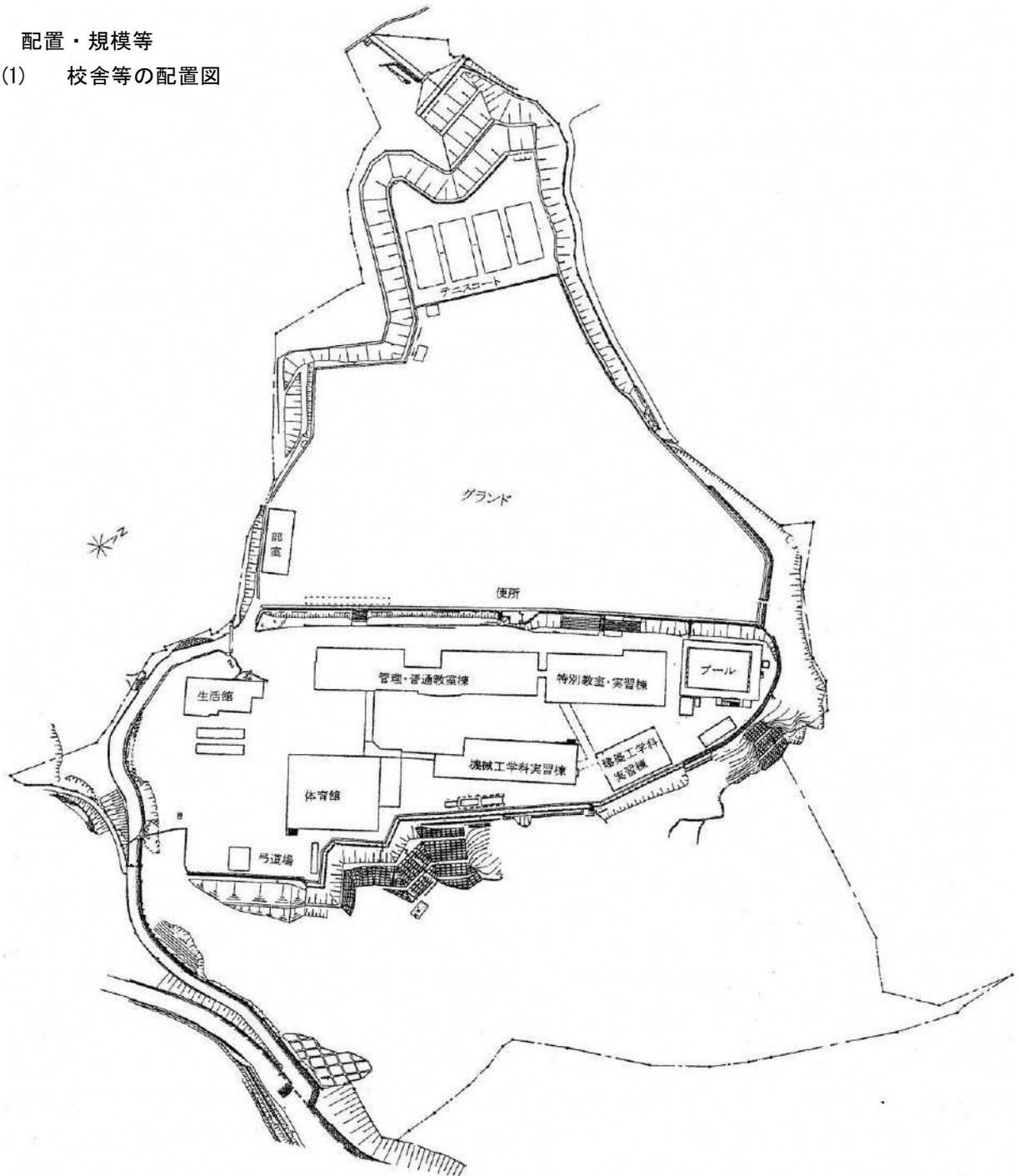
## 1 面積及び所有区分

(令和7年9月30日現在)

区 分	面 積 m <sup>2</sup>	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m <sup>2</sup>	国 有 m <sup>2</sup>	市町村有 m <sup>2</sup>	後援会有 m <sup>2</sup>	民 有 m <sup>2</sup>	
学 校 敷 地	90,061.40	90,061.40					
内 訳	校 舎 敷 地	16,293.42	16,293.42				
	運 動 場 敷 地	32,877.56	32,877.56				
	そ の 他 の 敷 地	40,890.42	40,890.42				
実 習 地							
内 訳	田						
	畑						
	茶 園						
	果 樹 園						
演 習 林	46,816.73	46,816.73					
校 舎	<u>建</u> 4,280.59	<u>4,280.59</u>					
	<u>延</u> 11,999.56	<u>11,999.56</u>					
体 育 館	<u>建</u> 1,498.58	<u>1,498.58</u>					
	<u>延</u> 2,762.85	<u>2,762.85</u>					
武 道 場	建 延						
その他の建物	<u>建</u> 616.12	<u>616.12</u>					
	<u>延</u> 592.74	<u>592.74</u>					
寄 宿 舎	建 延						
生 活 館	<u>建</u> 441.57				<u>441.57</u>		
	<u>延</u> 557.53				<u>557.53</u>		
プ ー ル	1	1					25m×7コース
職 員 住 宅							

## 2 配置・規模等

### (1) 校舎等の配置図



### (2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	90,061.40㎡	11,999.56㎡	32,877.56㎡
県平均	45,574.48㎡	9,782.41㎡	22,506.84㎡

## 学校施設の概要

(分校)

## 1 面積及び所有区分

(令和7年9月30日現在)

区 分	面 積 m <sup>2</sup>	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m <sup>2</sup>	国 有 m <sup>2</sup>	市町村有 m <sup>2</sup>	後援会有 m <sup>2</sup>	民 有 m <sup>2</sup>	
学 校 敷 地	21,297.30	21,297.30					
内 訳	校 舎 敷 地	10,841.44	10,841.44				
	運 動 場 敷 地	9,531.86	9,531.86				
	そ の 他 の 敷 地	924.00	924.00				
実 習 地							
内 訳	田						
	畑						
	茶 園						
	果 樹 園						
演 習 林							
校 舎	建1,315.00	1,315.00					
	延4,992.17	4,992.17					
体 育 館	建1,237.62	1,237.62					
	延1,425.12	1,425.12					
武 道 場	建 611.10	611.10					
	延 567.60	567.60					
その他の建物	建 543.74	493.37			50.37		部室棟
	延 592.42	491.68			100.74		
寄 宿 舎	建 延						
生 活 館	建 171.50				171.50		
	延 352.95				352.95		
プ ー ル	1	1					25m×7コース
職 員 住 宅	12戸	12戸					



## 在籍生徒調

(本校)

(令和7年9月30日現在)

学年	学科別		総合学科				工業科				合計			
	区分		定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
1年	入学者		40	26	15	41	40	32	2	34	80	58	17	75
	増加 減少													
		現在		26	15	41		32	2	34		58	17	75
	現在			26	15	41		32	2	34		58	17	75
2年	入学者		80	47	33	80	40	40	1	41	120	87	34	121
	増加 減少													
		2年時当初		2	2	4						2	2	4
	2年時当初			45	31	76		40	1	41		85	32	117
	増加 減少													
		現在		45	31	76		39	1	40		84	32	116
現在			45	31	76		39	1	40		84	32	116	
3年	入学者		80	38	43	81	80	27	4	31	160	65	47	112
	増加 減少													
		2年時当初		2	2	4						2	2	4
	2年時当初			36	41	77		27	4	31		63	45	108
	増加 減少													
		3年時当初			1	1							1	1
	3年時当初			36	40	76		27	4	31		63	44	107
	増加 減少													
現在			2		2						2		2	
現在			34	40	74		27	4	31		61	44	105	
合計			105	86	191		98	7	105		203	93	296	

## 在籍生徒調

(分校)

(令和7年9月30日現在)

学年	学科別		普通科				合計			
	区分		定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
1年	入学者		35	13	7	20	35	13	7	20
	増加 減少									
	現在			13	7	20		13	7	20
2年	入学者		35	8	9	17	35	8	9	17
	増加 減少									
					2	2			2	2
	2年時当初			8	7	15		8	7	15
	増加 減少									
現在			8	7	15		8	7	15	
3年	入学者		35	8	5	13	35	8	5	13
	増加 減少									
	2年時当初			8	5	13		8	5	13
	増加 減少			(1)		(1)		(1)		(1)
				3	1	4		3	1	4
	3年時当初			6	4	10		6	4	10
	増加 減少									
現在			6	4	10		6	4	10	
合計			105	27	18	45	105	27	18	45

## 入学志願者及び入学者数調

(本校)

区	分	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		総合 学科	工業 科	計	総合 学科	工業 科	計	総合 学科	工業 科	計	総合 学科	工業 科	計	総合 学科	工業 科	計
生徒定員 (A)		120	80	200	80	80	160	80	80	160	80	40	120	40	40	80
募集者数 (B)		120	80	200	80	80	160	80	80	160	80	40	120	40	40	80
志願者数	男	34	57	91	39	32	71	40	29	69	44	55	99	29	32	61
	女	40	3	43	22	3	25	43	2 (2)	45 (2)	33	1	34	19	1	20
	計(C)	74	60	134	61	35	96	83	31 (2)	114 (2)	77	56	133	48	33	81
受検者数	男	34	57	91	39	32	71	40	29	69	44	55	99	29	32	61
	女	40	3	43	22	3	25	43	2 (2)	45 (2)	33	1	34	19	1 (1)	20 (1)
	計(D)	74	60	134	61	35	96	83	31 (2)	114 (2)	77	56	133	48	33 (1)	81 (1)
合格者数	男	33	56	89	39	32	71	38	27	65	47	40	87	26	32	58
	女	40	3	43	22	3	25	43	2 (2)	45 (2)	33	1	34	15	1 (1)	16 (1)
	計(E)	73	59	132	61	35	96	81	29 (2)	110 (2)	80	41	121	41	33 (1)	74 (1)
志願倍率(C)/(B)		0.62	0.75	0.67	0.76	0.44	0.60	1.04	0.39	0.71	0.96	1.40	1.11	1.20	0.83	1.01
受検倍率(D)/(B)		0.62	0.75	0.67	0.76	0.44	0.60	1.04	0.39	0.71	0.96	1.40	1.11	1.20	0.83	1.01
入学者数	男	33	56	89	39	32	71	38	27	65	47	40	87	26	32	58
	女	40	3	43	22	3	25	43	4	47	33	1	34	15	2	17
	計(F)	73	59	132	61	35	96	81	31	112	80	41	121	41	34	75
充足率(F)/(A)		0.61	0.74	0.66	0.76	0.44	0.60	1.01	0.39	0.70	1.00	1.03	1.01	1.03	0.85	0.94

□□□□

## 入学志願者及び入学者数調

(分校)

区	分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		普 通 科	計								
生徒定員 (A)		35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
募集者数 (B)		35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
志願者数	男	6	6	14	14	10	10	8	8	13	13
	女	10	10	9	9	5	5	9	9	7	7
	計(C)	16	16	23	23	15	15	17	17	20	20
受検者数	男	6	6	13	13	10	10	8	8	13	13
	女	10	10	9	9	5	5	9	9	7	7
	計(D)	16	16	22	22	15	15	17	17	20	20
合格者数	男	6	6	13	13	8	8	8	8	13	13
	女	10	10	9	9	5	5	9	9	7	7
	計(E)	16	16	22	22	13	13	17	17	20	20
志願倍率(C)/(B)		0.46	0.46	0.66	0.66	0.43	0.43	0.49	0.49	0.57	0.57
受検倍率(D)/(B)		0.46	0.46	0.63	0.63	0.43	0.43	0.49	0.49	0.57	0.57
入学者数	男	6	6	13	13	8	8	8	8	13	13
	女	10	10	9	9	5	5	9	9	7	7
	計(F)	16	16	22	22	13	13	17	17	20	20
充足率(F)/(A)		0.46	0.46	0.63	0.63	0.37	0.37	0.49	0.49	0.57	0.57

□□□□

## 卒業生の動向調

(本校)

### 1 進路状況

学 科 別		総合学科			工業科			(計)			
年 度		4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	
卒業生徒数		76	71	61	41	51	35	117	122	96	
内 訳	(進学志願者)	58	53	39	12	13	15	70	66	54	
	進学者	大学・短大	30	27	20	5	10	3	35	37	23
		専修・各種学校等	28	26	19	7	3	12	35	29	31
		小 計	58	53	39	12	13	15	70	66	54
	就職者	16	17	20	28	36	20	44	53	40	
	自営者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	進学準備者	1	0	0	1	0	0	2	0	0	
	その他	1	1	2	0	2	0	1	3	2	
合 計		76	71	61	41	51	35	117	122	96	

### 2 求人状況 (全日制のみ)

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就職希望者数	44	53	40
求 人 数	795	920	1088
求 人 倍 率	18.07	17.36	27.20

### 3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別	総合学科	工業科	(計)		
卒 業 生 徒 数	61	35	96		
資格取得状況	日本漢字能力検定	2級	0	0	0
	日本漢字能力検定	準2級	1	0	1
	日本漢字能力検定	3級	0	0	0
	実用数学技能検定	準2級	0	0	0
	実用数学技能検定	3級	0	0	0
	実用英語技能検定	2級	1	0	1
	実用英語技能検定	準2級	3	0	3
	実用英語技能検定	3級	0	0	0
	簿記能力検定	基礎簿記	0	0	0
	簿記能力検定(全経)商業簿記	2級	0	0	0
	簿記能力検定(全経)	3級	1	0	1
	簿記検定(日商)	3級	0	0	0
	情報処理検定(全商)	1級	0	0	0
	情報処理検定(全商)	2級	0	0	0
	情報処理検定(全商)	3級	0	0	0
	ビジネス計算(全商)	2級	0	0	0
	ビジネス計算(全商)	3級	0	0	0
	ビジネス文書(全商)・速度	1級	0	0	0
	ビジネス文書(全商)・速度	2級	0	0	0
	ビジネス文書(全商)・速度	3級	0	0	0
	ビジネス文書(全商)・文書	1級	0	0	0
	情報技術検定	3級	0	16	16
	計算技術検定	3級	0	27	27
	技能検定(機械保全 機械系)	3級	0	1	1
	技能検定(金属加工 普通旋盤作業)	3級	0	2	2
	技能検定(建築大工)	2級	0	2	2
	技能検定(テクニカルイラストレーション)	3級	0	0	0
	アーク溶接特別教育講習		0	6	6
	小型フォークリフト特別教育講習		0	22	22
	小型クレーン特別教育講習		0	11	11
	小型車両系建設機械特別教育講習		0	10	10
	小型玉掛け作業特別教育講習		0	11	11
電気工事士	第1種	0	0	0	
電気工事士	第2種	0	3	3	
電気工事施工管理技術検定	2級	0	3	3	
建築施CAD検定	4級	0	7	7	
基礎製図検定		0	0	0	
合 計		6	121	127	

□□□□

## 卒業生の動向調

(分校)

### 1 進路状況

学 科 別		普通科			(計)			
年 度		4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	
卒業生徒数		6	13	13	6	13	13	
内 訳	(進学志願者)	5	5	5	5	5	5	
	進 学 者	大学・短大	4	1	1	4	1	1
		専修・各種学校等	1	4	4	1	4	4
		小 計	5	5	5	5	5	5
	就職者	1	6	7	1	6	7	
	自営者	0	0	0	0	0	0	
	進学準備者	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	2	1	0	2	1	
合 計		6	13	13	6	13	13	

### 2 求人状況 (全日制のみ)

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就職希望者数	1	6	7
求 人 数	341	496	507
求人倍率	341.0	82.7	72.4

### 3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別		普通科	(計)
卒 業 生 徒 数		13	13
資 格 の 取 得 状 況	ビジネス計算実務検定 3級	3	3
	文書デザイン検定 1級	1	1
	文書デザイン検定 2級	1	1
	プレゼンテーション作成検定 1級	1	1
	プレゼンテーション作成検定 2級	1	1
	日本語ワープロ検定 1級	1	1
	簿記実務検定 2級	1	1
	簿記実務検定 3級	4	4
合 計		13	13

## 生徒の状況

(本校)

## 1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

市町名	伊豆市	伊豆の国市	函南町	三島市	その他	合計
生徒数	102	103	32	39	20	296
構成比%	34.5	34.8	10.8	13.2	6.7	100%

(2) 通学方法 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

区分	徒歩	自転車	バス	電車	その他	合計
生徒数	19	33	37	174	33	296
構成比%	6.5	11.1	12.5	58.8	11.1	100%

## 2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		11	8		19
男子	1年	46	12	0	58
	2年	61	20	3	84
	3年	31	17	13	61
	計(A)	138	49	16	203
	構成比	68.0	24.1	7.9	100
女子	1年	10	7	0	17
	2年	11	12	9	32
	3年	17	20	7	44
	計(B)	38	39	16	93
	構成比	40.9	41.9	17.2	100
合計	(A+B)	176	88	32	296
	構成比	59.5	29.7	10.8	100

## 生徒の状況

(分校)

## 1 生徒の出身地域及び通学方法

## (1) 出身地

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

市町名	伊豆市	西伊豆町	松崎町	沼津市	その他	合計
生徒数	12	5	4	2	22	45
構成比%	26.7%	11.1%	8.9%	4.4%	48.9%	100.0%

## (2) 通学方法

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

区分	徒歩	自転車	バス	電車	その他	合計
生徒数	4	21	20	0	0	45
構成比%	8.9%	46.7%	44.4%	0.0%	0.0%	100.0%

## 2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		3	2		5
男子	1年	10	3	0	13
	2年	6	2	0	8
	3年	6	0	0	6
	計(A)	22	5	0	27
	構成比	81.5%	18.5%	0.0%	100.0%
女子	1年	2	5	0	7
	2年	1	6	0	7
	3年	1	3	0	4
	計(B)	4	14	0	18
	構成比	22.2%	77.8%	0.0%	100.0%
合計	(A+B)	26	19	0	45
	構成比	57.8%	42.2%	0.0%	100.0%

□□□□  
(全日制)

### 授業料収納状況調

(令和6年度)

期別	月別	調定の状況								収納の状況				異動者等の状況
		1年		2年		3年		計		納期内収納額		納期後 収納額	収入 未済額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率			
一期	7	4	118,800	2	59,400	1	29,700	23	683,100	653,400	95.7		29,700	A. 期首収納権利発生額=683,100円 (23人×9,900円×3月)
	8	▲1	▲29,700					▲1	▲29,700	▲29,700		29,700	0	B. 収納権利増減(▲)額=▲29,700円 授業料減免遊及認定1人 (1人×▲9,900円×3月=▲29,700円)
	計	10	297,000	4	118,800	8	237,600	22	653,400	623,700	95.5	29,700	0	C. 収納必要額A(±)B=653,400円
二期	10	3	148,500	2	99,000			23	1,138,500	1,089,000	95.7		49,500	A. 期首収納権利発生額=1,138,500円 (23人×9,900円×5月)
	11			▲9,900				▲9,900	▲9,900	▲9,900		49,500	0	B. 収納権利増減(▲)額=▲9,900円 10月18日:分校2年:退学1人 (1人×▲9,900円×1月=▲9,900円)
	計	11	544,500	5	237,600	7	346,500	23	1,128,600	1,079,100	95.6	49,500	0	C. 収納必要額A(±)B=1,128,600円
三期	1	3	118,800	1	39,600			22	871,200	831,600	95.5		39,600	A. 期首収納権利発生額=871,200円 (22人×9,900円×4月)
	2											39,600	0	B. 収納権利増減(▲)額=0円
	計	11	435,600	4	158,400	7	277,200	22	871,200	831,600	95.5	39,600	0	C. 収納必要額A(±)B=871,200円
合計		32	1,277,100	13	514,800	22	861,300	67	2,653,200	2,534,400	95.5	118,800	0	D. 収納必要額=2,653,200円

□□□□  
(単位制の全日制)

### 授業料収納状況調

(令和6年度)

(本校のみ)

期別	月別	調定の状況								収納の状況				異動者等の状況
		1年		2年		3年		計		納期内収納額		納期後 収納額	収入 未済額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率			
前期	10	12	653,400	13	623,700	8	356,400	33	1,633,500	1,603,800	98.2		29,700	A. 期首収納権利発生額=1,633,500円 (22人×9,900円×6月) (19人×9,900円×3月)
	11											29,700	0	B. 収納権利増減(▲)額=0円
	計	12	653,400	13	623,700	8	356,400	33	1,633,500	1,603,800	98.2	29,700	0	C. 収納必要額A(±)B=1,633,500円
後期	1	12	712,800	10	594,000	6	356,400	28	1,663,200	1,603,800	96.4		59,400	A. 期首収納権利発生額=1,663,200円 (28人×9,900円×6月)
	2											59,400	0	B. 収納権利増減(▲)額=0円
	計	12	712,800	10	594,000	6	356,400	28	1,663,200	1,603,800	96.4	59,400	0	C. 収納必要額A(±)B=1,663,200円
合計		24	1,366,200	23	1,217,700	14	712,800	61	3,296,700	3,207,600	97.3	89,100	0	D. 収納必要額=3,296,700円

令和7年度対象なし

□□□□

### 県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年度 (令和7年9月30日現在)
	件 数	件 数
高等学校入学検定料	104	0

□□□□

### 現金出納調

(令和6年度)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 829,200	円 829,200	円 829,200	円 0	円 829,200 262 枚	円 829,200 111 枚
雑入	0	16,280	16,280	16,280	0	16,280 13 枚	16,280 13 枚
計	0	845,480	845,480	845,480	0	845,480 275 枚	845,480 124 枚

□□□□

### 現金出納調

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 560,750	円 560,750	円 560,750	円 0	円 560,750 158 枚	円 560,750 59 枚
雑入	0	6,240	6,240	6,240	0	6,240 6 枚	6,240 6 枚
計	0	566,990	566,990	566,990	0	566,990 164 枚	566,990 65 枚

□□□□

### 預 金 調

(令和7年9月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘要
スルガ銀行 修善寺支店	無利息型 普通預金	2882038	静岡県立伊豆総合高等学校 資金前渡者 所 康俊	0	給与等前渡資金 受領口座
スルガ銀行 修善寺支店	無利息型 普通預金	2882039	自振口静岡県立伊豆総合高等学校 資金前渡者 所 康俊	0	公共料金等 引落口座
残 高 合 計				0	

□□□□

### 郵 券 等 受 払 調

(令和7年9月30日現在)

(本校)

(単位:枚、円)

区分	種類	令和6年度						令和7年度						差引現在高	摘要	
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出				
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額			
郵券	10円券	1	10	0	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	連絡用
	40円券	0	0	1	40	1	40	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100円券	0	0	1	100	1	100	0	0	0	0	0	0	0	0	
	350円券	0	0	1	350	1	350	0	0	0	0	0	0	0	0	
計			10		490		500		0		0		0		0	

(分校)

なし

□□□□

## 委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	02教育委員会費	03教育管理費		645,700	
	一般会計	教育費	05高等学校費	02高等学校管理費		5,066,600	
	一般会計	教育費	07特別支援学校費	02特別支援学校管理費		23,100	
計					7,387,814	5,735,400	0
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	02教育委員会費	03教育管理費		2,376,000	
計					6,114,900	2,376,000	0
(16) 公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	05高等学校費	02高等学校管理費		161,700	
計					14,709,970	161,700	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	02教育委員会費	03教育管理費		0	
	一般会計	教育費	05高等学校費	02高等学校管理費		37,672,150	
計					39,332,100	37,672,150	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

□□□□

## 委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年9月30日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	05高等学校費	02高等学校管理費	1,541,100	0
計					1,541,100	0
(14) 工事請負費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	05高等学校費	02高等学校管理費	269,500	0
計					269,500	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	05高等学校費	02高等学校管理費	3,913,100	0
計					3,913,100	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 土肥分校 警備業務	セコム(株)	2,422,200	924,000	0	924,000	一般	1.10.1 ~ 6.9.30	(累計) 6.5.31 15,400 6.6.24 15,400 6.7.25 15,400 6.8.27 15,400 6.9.25 15,400 6.10.30 15,400 小計 92,400	(831,600) 機械警備	R1長期	
2	エレベーター保守点検業務	フジテック(株) 静岡支店	902,781	501,600	0	501,600	随契	6.4.1 ~ 7.3.31	6.5.31 39,600 6.6.28 39,600 6.7.25 39,600 6.8.26 39,600 6.9.25 39,600 6.10.25 39,600 6.11.25 39,600 6.12.25 39,600 7.1.24 39,600 7.2.25 39,600 7.3.25 39,600 7.4.25 39,600 小計 501,600	エレベーター保守点検	随契1号 (少額)	
3	自家用電気工作物保安管理業務	村松電気 管理事務所 □□ □□	949,300	949,300	29,700	979,000	随契	6.4.1 ~ 7.3.31	6.5.15 68,200 6.6.28 68,200 6.7.25 68,200 6.8.26 70,400 6.9.25 211,200 6.10.25 70,400 6.11.25 70,400 6.12.25 70,400 7.1.24 70,400 7.2.25 70,400 7.3.25 70,400 7.4.25 70,400 小計 979,000	自家用電気工作物保安管理	随契1号 (少額) 土肥分校	
4	建築物環境衛生管理業務	(株)カンザイ	2,621,300	2,578,400	0	2,578,400	一般	6.4.1 ~ 7.3.31	6.7.25 625,350 6.10.25 792,550 7.1.24 664,950 7.4.25 495,550 小計 2,578,400	建築物環境衛生管理		
5	プール浄化装置保守点検業務	東伸興産(株)	264,000	194,700	-7,700	187,000	随契	6.4.8 ~ 6.10.18	6.10.25 187,000 小計 187,000	三島・田方地区8校におけるプール浄化装置保守点検	随契1号 (少額) 土肥分校 韮山高 伊豆中央高 田方農業高 三島南高 三島北高 東部特支	
6	一般廃棄物収集運搬業務	(有)伊豆クリーンサービス	158,620	130,295	0	130,295	随契	6.4.8 ~ 7.3.31	6.5.31 7,590 6.6.28 11,385 6.7.25 11,385 6.8.26 12,650 6.9.25 7,590 6.10.25 11,385 6.11.25 12,650 6.12.25 11,385 7.1.24 11,385 7.2.25 11,385 7.3.25 10,120 7.4.25 11,385 小計 130,295	一般廃棄物収集運搬	随契1号 (少額)	
7	土肥分校ゴミ収集運搬業務	(有)土肥環境整美	288,750	288,750	0	288,750	随契	6.4.3 ~ 7.3.31	6.5.21 20,200 6.6.17 24,640 6.7.12 24,640 6.8.15 26,950 6.9.17 17,710 6.10.15 24,640 6.11.21 30,030 6.12.17 26,950 7.1.20 24,640 7.2.18 24,640 7.3.21 22,330 7.4.11 21,560 小計 288,750	一般廃棄物収集運搬	随契1号 (少額)	
8	産業廃棄物収集運搬処分業務	セキトランスシステム(株)	28,655	28,655	0	28,655	随契	6.6.3 ~ 6.9.30	6.10.25 28,655 小計 28,655	産業廃棄物収集運搬処分	随契1号 (少額)	
9	産業廃棄物収集運搬処分業務	セキトランスシステム(株)	99,000	99,000	0	99,000	随契	6.4.22 ~ 6.9.30	6.10.25 99,000 小計 99,000	産業廃棄物収集運搬処分	随契1号 (少額)	
10	産業廃棄物収集運搬処分業務	セキトランスシステム(株)	99,000	99,000	0	99,000	随契	6.9.20 ~ 6.12.27	7.1.21 99,000 小計 99,000	産業廃棄物収集運搬処分	随契1号 (少額)	
11	産業廃棄物収集運搬処分業務	セキトランスシステム(株)	99,000	99,000	0	99,000	随契	6.12.23 ~ 7.3.31	6.4.10 99,000 小計 99,000	産業廃棄物収集運搬処分	随契1号 (少額)	

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
12	(事務関係) 土肥分校 産業廃棄物収集・ 運搬及び処分業務	セキトランス システム㈱	円 99,000	円 99,000	円 0	円 99,000	随契	6. 4. 16 ～ 7. 3. 31	7. 3. 21 小計	円 99,000 99,000	産業廃棄物収集 運搬処分	随契1号 (少額)
13	土肥分校 教職員住宅産業廃 棄物収集・運搬及 び処分業務	セキトランス システム㈱	55,000	55,000	0	55,000	随契	6. 5. 31 ～ 7. 3. 31	7. 1. 24 小計	55,000	産業廃棄物収集 運搬処分	随契1号 (少額)
14	土肥分校 八木沢教職員住宅 産業廃棄物収集・ 運搬及び処分業務	セキトランス システム㈱	29,700	29,700	0	29,700	随契	6. 11. 15 ～ 7. 3. 31	7. 1. 24 小計	29,700	産業廃棄物収集 運搬処分	随契1号 (少額)
15	土肥分校 職員住宅用地積 更登記業務委託	㈱ユーアイ企 画設計	99,000	99,000	0	99,000	随契	6. 12. 6 ～ 7. 2. 28	7. 2. 12 小計	99,000 99,000	地積更正登記	随契1号 (少額)
	事務関係 計	15件								5,365,800		
1	(工事関係) アスベスト等含有 調査業務	東海プラント 分析センター ㈱	498,300	376,200	△ 6,600	369,600	随契	6. 10. 25 ～ 6. 11. 15	6. 12. 13	369,600	アスベスト等含 有調査	随契1号 (少額)
	工事関係 計	1件								369,600		
	合計	15件								5,735,400		
参考 1	警備業務	セコム㈱		14,256,000	1,322,750	15,578,750		1. 10. 1 ～ 6. 9. 30			三島・田方地区 10校の機械警備	三島北高 R1長期
参考 2	警備業務	セコム㈱		19,965,000		19,965,000		6. 10. 1 ～ 11. 9. 30			三島・田方地区 11校の機械警備	三島北高 R6長期
参考 3	消防設備等保守点 検業務	伊豆防災機器 ㈱		8,156,104	0	8,156,104		6. 4. 1 ～ 7. 3. 31			三島・田方地区 10校の消防用設 備等の機能維持	三島北高
参考 4	建築基準法第12条 に基づく定期点検 業務	㈱コーセイ産 業		2,378,640	0	2,378,640		6. 8. 1 ～ 6. 11. 29			三島・田方地区 10校の建築基準 法第12条にかか る定期点検	伊豆中央高
	計	3件										

委託料に関する調

(令和7年度)  
令和7年9月30日現在

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) エレベーター保守点検業務	フジテック㈱ 静岡支店	933,189	514,800	0	514,800	随契	7.4.1 ~ 8.3.31	7.5.26 7.6.25 7.7.25 7.8.25 7.9.25 小計	40,700 40,700 40,700 40,700 40,700 203,500	エレベーター保守点検	随契1号(少額)
2	自家用電気工作物保安管理業務	唯電気管理事務所 □□□□	994,400	994,400	0	994,400	随契	7.4.1 ~ 8.3.31	7.5.26 7.6.25 7.7.25 7.8.25 7.9.25 小計	89,100 51,700 89,100 51,700 238,700 520,300	自家用電気工作物保安管理	随契1号(少額) 土肥分校
3	建築物環境衛生管理業務	㈱カンザイ	2,740,100	2,662,000	0	2,662,000	一般	7.4.1 ~ 8.3.31	7.7.25   小計	642,950   642,950	建築物環境衛生管理	
4	一般廃棄物収集運搬業務	㈹伊豆クリーンサービス	154,000	129,800	0	129,800	随契	7.4.3 ~ 8.3.31	7.5.26 7.6.25 7.7.25 7.8.25 7.9.25 小計	9,086 10,384 10,384 14,278 7,788 51,920	一般廃棄物収集運搬	随契1号(少額)
5	プール浄化装置保守点検業務	東伸興産㈱	346,500	191,400	0	191,400	随契	7.4.7 ~ 7.10.17	    小計	    0	三島・田方地区7校におけるプール浄化装置保守点検	随契1号(少額) 土肥分校 韮山高 伊豆中央高 田方農業高 三島南高 東部特支
6	土肥分校 ゴミ収集運搬業務	㈹土肥環境整美	300,300	300,300	0	300,300	随契	7.4.1 ~ 8.3.31	7.5.21 7.6.23 7.7.18 7.8.26 7.9.18 小計	22,330 27,720 24,640 30,030 17,710 122,430	一般廃棄物収集運搬	随契1号(少額)
7	産業廃棄物収集運搬処分業務	セキトランスシステム㈱	99,000	99,000	0	99,000	随契	7.4.11 ~ 7.11.28	  小計	  0	産業廃棄物収集運搬処分	随契1号(少額)
8	土肥分校 産業廃棄物収集・運搬処分及び業務委託	セキトランスシステム㈱	99,000	99,000	0	99,000	随契	7.4.8 ~ 8.3.31	  小計	  0	産業廃棄物収集運搬処分	随契1号(少額)
	事務関係 計	8件								1,541,100		
	合計	8件								1,541,100		
参考1	警備業務	セコム㈱		19,965,000		19,965,000		6.10.1 ~ 11.9.30			三島・田方地区11校の機械警備	三島北高R6長期
参考2	消防設備等保守点検業務	伊豆防災機器㈱		8,032,024	89,100	8,121,124		7.4.1 ~ 8.3.31			三島・田方地区10校の消防用設備等の機能維持	三島北高
	計	2件										

## 負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催通知	総会・研究協議会	円 4,000	6. 5. 14
2	東海地区電気教育研究会年会費	東海地区電気教育研究会	規約	電気 高等学校教育の振興	4,000	6. 6. 7
3	東海地区建築教育研究会年会費	東海地区建築教育研究会	規約	建築 高等学校教育の振興	4,000	6. 6. 7
4	東日本建築教育研究会年会費	東日本建築教育研究会	規約	建築 高等学校教育の振興	6,500	6. 6. 10
5	刈払機取扱作業安全衛生教育受講料(分校)	林材業労災防止協会静岡支部	開催要項	講習会	12,100	6. 6. 24
6	伐木等業務特別教育(補講)受講料(分校)	林材業労災防止協会静岡支部	開催要項	講習会	3,850	6. 6. 24
7	東海地区総合学科高等学校長協会会費	東海地区総合学科高等学校長協会	規約	総合学科高等学校教育の振興	10,000	6. 7. 8
8	東海地区工業高等学校長教育研究会総会研究協議会年会費	東海地区機械教育研究会	規約	機械 高等学校教育の振興	4,000	6. 7. 12
9	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催要項	機械 高等学校教育の振興	2,000	6. 7. 19
10	特別教育小型車両系建設機械受講料	キャタピラー教習所株式会社 静岡教習センター	開催通知	講習会	19,000	6. 7. 31
11	高等学校等就学支援金(分校)	全日制高等学校授業料(第1期分 39人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	生徒の授業料に充てる	1,158,300	6. 7. 31
12	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分工業 91人分)			2,702,700	6. 7. 31
13	高等学校等就学支援金(分校)	全日制高等学校授業料(第1期分 1人分)			29,700	6. 8. 19
14	東海地区機械教育研究会研究協議会参加費	東海地区機械教育研究会	開催要項	研究協議会	2,500	6. 11. 8
15	高等学校等就学支援金(分校)	全日制高等学校授業料(第2期分 38人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	生徒の授業料に充てる	1,930,500	6. 10. 31
16	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分工業 89人分)			4,405,500	6. 10. 31
17	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(前期分総合 196人分)			11,315,700	6. 10. 31
18	高等学校等就学支援金(分校)	全日制高等学校授業料(退学者戻入 1人分)			△ 9,900	6. 11. 7
19	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(7～9月分総合 1人分)		遡及認定生徒へ還付する	29,700	6. 11. 29
20	高等学校等就学支援金(分校)	全日制高等学校授業料(第3期分 37人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	生徒の授業料に充てる	1,465,200	6. 1. 31
21	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(後期分総合 189人分)			11,058,300	6. 1. 31
22	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分工業 89人分)			3,524,400	6. 1. 31
23	高等学校等就学支援金(分校)	全日制高等学校授業料(退学者戻入 1人分)			△ 19,800	7. 2. 18
24	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(3月分工業 1人分)				認定生徒へ還付する
	計	24 件			37,672,150	

## 負担金支出調

(令和7年度)  
(令和7年9月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国工業高等学校長協会総会研究協議会参加費	全国工業高等学校長協会	開催通知	総会・研究協議会	円 5,000	7. 4. 25
2	全国高等学校長協会総会研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催通知	総会・研究協議会	4,000	7. 4. 30
3	東日本建築教育研究会年会費	東日本建築教育研究会	規約	建築 高等学校教育の振興	6,500	7. 4. 30
4	東海地区電気教育研究会年会費	東海地区電気教育研究会	規約	電気 高等学校教育の振興	4,000	7. 5. 30
5	東海地区建築教育研究会年会費	東海地区建築教育研究会	規約	建築 高等学校教育の振興	4,000	7. 5. 30
6	東海地区機械教育研究会総会研究協議会参加費	東海地区機械教育研究会	開催通知	総会・研究協議会	1,000	7. 6. 17
7	東海地区総合学科高等学校長協会会費	東海地区総合学科高等学校長協会	規約	総合学科高等学校教育の振興	10,000	7. 6. 30
8	東海地区工業高等学校長教育研究会総会研究協議会参加費	東海地区工業高等学校長教育研究会	開催通知	総会・研究協議会	3,000	7. 6. 30
9	東海四県高等学校長連絡協議会総会研究協議会参加費	東海四県高等学校長連絡協議会	開催要項	総会・研究協議会	2,000	7. 7. 7
10	東海地区学校図書館研究大会参加費(分校)	東海地区学校図書館研究大会運営委員会	開催通知	研究大会	3,000	7. 7. 14
11	東海地区機械教育研究会年会費	東海地区機械教育研究会	規約	機械 高等学校教育の振興	4,000	7. 7. 14
12	東海地区学校図書館研究大会参加費	東海地区学校図書館研究大会運営委員会	開催通知	研究大会	3,000	7. 7. 22
13	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分工業 92人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	生徒の授業料に充てる	2,722,500	7. 7. 31
14	高等学校等就学支援金(分校)	全日制高等学校授業料(第1期分 37人分)			1,098,900	7. 7. 31
15	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分工業 1人分)			29,700	7. 9. 12
16	全国工業高等学校長協会研究協議会参加費	全国工業高等学校長協会	開催通知	研究協議会	6,500	7. 8. 6
17	全国英語教育研究大会参加費	全国英語教育研究団体連合会	開催通知	研究大会	6,000	7. 9. 26
計		17 件			3,913,100	

## 建 築 工

(本校・分校)

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金 額		
					当初額	変更増減額	計
1	教育管理費	令和6年度静岡県立伊豆総合高等学校土肥分校体育館排煙窓オペレーター修繕工事	伊豆市土肥地内	円 880,000	円 880,000	円 0	円 880,000
2	教育管理費	令和6年度静岡県立伊豆総合高等学校土肥分校管理棟トイレ改修工事	伊豆市土肥地内	円 1,595,000	円 1,496,000	円 0	円 1,496,000
		合 計	2件		2,376,000	0	2,376,000
参考 1	教育管理費	令和6年度静岡県立伊豆総合高等学校管理教室棟トイレ洋式化ほか改修工事	伊豆市牧之郷地内	円 15,378,000	円 14,740,000	円 △ 363,000	円 14,377,000
		合 計	1件		14,740,000	△ 363,000	14,377,000

令和7年度

令和7年9月30日現在 該当なし

# 事 調

(令和6年度)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
随契	青木興業(株)	R6.7.29 R6.9.18	円 880,000	体育館南面排煙窓のオペレーター及びメインケーブル等の修繕工事	—	令達日 R6.7.10 支払日 R6.9.30 随契1号(少額)
随契	古郡工業(株)	R6.12.23 R7.2.28	円 1,496,000	管理棟女子トイレ和式便器の洋式便器への改修及び、男女トイレの洋式便器への温水洗浄便座の設置	—	令達日 R6.12.9 支払日 R7.3.24 随契1号(少額)
			2,376,000			
指名	古郡工業(株)	R6.6.25 R6.10.15	14,377,000	機械設備工事	—	交通基盤部 沼津土木事務所 総務課
			14,377,000			

□ □ □ □

## 公 有 財 産 調

(本校)

(令和6年度)

区分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳 価 格	数量又 は面積	台帳 価 格	数量又 は面積	台帳 価 格	数量又は面積	台帳 価 格	
行政財産		千円 3,815,439		千円		千円 76,654		千円 3,738,785	
土 地	136,878.13m <sup>2</sup> (46,816.73m <sup>2</sup> )	2,360,828 (1,271)					136,878.13m <sup>2</sup> (46,816.73m <sup>2</sup> )	2,360,828 (1,271)	(演習林)
立木竹	4本 1,259.00m <sup>3</sup>	124 14,337					4本 1,259.00m <sup>3</sup>	124 14,337	(演習林)
建 物	建 6,395.29m <sup>2</sup> 延 15,355.15m <sup>2</sup>	1,359,297				67,930	建 6,395.29m <sup>2</sup> 延 15,355.15m <sup>2</sup>	1,291,367	
工作物	67個	80,853				8,724	67個	72,129	
普通財産		19,079						19,079	
土 地	251.04m <sup>2</sup>	19,079					251.04m <sup>2</sup>	19,079	
建 物	0	0					0	0	
工作物	0個	0					0個	0	
公有財産に 準ずるもの		344						344	
電話加入権	9件	344					9件	344	

令和7年度中増減なし

□□□□

## 公 有 財 産 調

(分校)

(令和6年度)

区分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳 格 価	数量又は 面積	台帳 格 価	数量又は 面積	台帳 格 価	数量又は面積	台帳 格 価	
行政財産		千円 777,826		千円		千円 4,803		千円 773,023	
土地	21,299.40㎡	702,517					21,299.40㎡	702,517	
立木竹	68本	879					68本	879	
建物	建 3,657.09㎡ 延 7,476.57㎡	69,521				4,246	建 3,657.09㎡ 延 7,476.57㎡	65,275	
工作物	43個	4,909	3個		2個	557	44個	4,352	
普通財産		95,783				5,160		90,623	
土地	1,318.09㎡	33,478	8.60㎡				1,326.69㎡	33,478	
建物	建 327.23㎡ 延 781.81㎡	62,305				5,160	建 327.23㎡ 延 781.81㎡	57,145	
工作物	14個	0					14個	0	
公有財産に 準ずるもの		127						127	
電話加入権	5件	127					5件	127	

(令和7年度)

(分校)

(令和7年9月30日現在)

区分	令和7年3月31日現在		増		減		令和7年9月30日現在		摘要
	数量又は面積	台帳 格 価	数量又は 面積	台帳 格 価	数量又は 面積	台帳 格 価	数量又は面積	台帳 格 価	
行政財産		千円 773,023		千円		千円 6		千円 773,017	
土地	21,299.40㎡	702,517	1.40㎡		3.50㎡		21,297.30㎡	702,517	
立木竹	68本	879			1本	6	67本	873	
建物	建 3,657.09㎡ 延 7,476.57㎡	65,275					建 3,657.09㎡ 延 7,476.57㎡	65,275	
工作物	44個	4,352	1個		1個		44個	4,352	
普通財産		90,623						90,623	
土地	1,326.69㎡	33,478					1,326.69㎡	33,478	
建物	建 327.23㎡ 延 781.81㎡	57,145					建 327.23㎡ 延 781.81㎡	57,145	
工作物	14個	0					14個	0	
公有財産に 準ずるもの		127						127	
電話加入権	5件	127					5件	127	

## 借地借家等調

(本校)

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又 は面積	借料		契約 期間	所有者又は 契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	建物	事務所建	伊豆市牧之郷 892	RC造	2階	441.57 m <sup>2</sup> 557.53 m <sup>2</sup>	円 —	円 無償	自R 4. 4. 1 至R 9. 3. 31	伊豆総合高校 後援会	生活館
	建物 計					441.57 m <sup>2</sup> 557.53 m <sup>2</sup>		0			
2	工作物	冷暖房 装置	伊豆市牧之郷 892			1個	—	5,689,038	自R 3. 7. 1 至R16. 6. 30	三井住友ファイ ナンス&リース 株式会社	普通教室 全24 教室 空調
3	工作物	冷暖房 装置	伊豆市牧之郷 892			1個	—	4,576,114	自R 6. 7. 1 至R19. 6. 30	NTT・TCリース 株式会社	特別教室 全11 教室 空調
	工作物 計					2個		10,265,152			

## 借地借家等調

(分校)

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又 は面積	借料		契約 期間	所有者又は 契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	雑種地	伊豆市土肥 870-1	河川敷	河川敷	9.40 m <sup>2</sup>	—	無償	自R 6. 4. 1 至R 9. 3. 31	伊豆市長	通行路
2	土地	雑種地	伊豆市土肥 870-1	河川敷	河川敷	18.90 m <sup>2</sup>	—	無償	自R 6. 4. 1 至R 9. 3. 31	伊豆市長	通行路
3	土地	雑種地	伊豆市土肥 870-1	河川敷	河川敷	7.40 m <sup>2</sup>	—	無償	自R 6. 4. 1 至R 9. 3. 31	伊豆市長	通行路
	土地 計					35.7 m <sup>2</sup>		0			
4	建物	雑屋建	伊豆市土肥 870-1	S造2階		<u>50.37 m<sup>2</sup></u> 100.74 m <sup>2</sup>	—	無償	自R 4. 4. 1 至R 9. 3. 31	伊豆総合高校 土肥分校後援会長	部室
5	建物	住宅建	伊豆市土肥 870-1	RC造2階		<u>171.50 m<sup>2</sup></u> 352.95 m <sup>2</sup>	—	無償	自R 4. 4. 1 至R 9. 3. 31	伊豆総合高校 土肥分校後援会長	生活館
	建物 計					<u>221.87 m<sup>2</sup></u> 453.69 m <sup>2</sup>		0			
6	工作物	舗装 門 中庭	伊豆市土肥 870-1			432.94 m <sup>2</sup> 1箇所	—	無償	自R 4. 4. 1 至R 9. 3. 31	伊豆総合高校 土肥分校後援会長	舗装 門 中庭
7	工作物	冷暖房 装置	伊豆市土肥 870-1			1個	—	21,570,900	自R 3. 7. 1 至R16. 6. 30	三井住友ファイ ナンス&リース 株式会社	普通教室 全7教室 空調
8	工作物	冷暖房 装置	伊豆市土肥 870-1			1個	—	42,915,757	自R 6. 7. 1 至R19. 6. 30	NTT・TC'リース 株式会社静岡支 店	特別教室 全9教室 空調
9	工作物	電柱	伊豆市土肥 870-1			1本	—	無償	自R 7. 4. 1 至R12. 3. 31	伊豆総合高校 土肥分校後援会長	生活館 電力供給用
	工作物 計					432.94 m <sup>2</sup> 4箇所		64,486,657			

### 事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)

(本校、分校一括契約)

(令和7年9月30日現在)

区分	事業名又は契約名	内容	契約額	(契約年の年度別内訳)											
				2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度		
長期継続契約	静岡県立伊豆総合高等学校 高速カラー印刷機 賃借	高速カラー印刷機 賃借 (契約日) 令和2年4月1日	6,468,000	1,293,600	1,293,600	1,293,600	1,293,600	1,293,600							
長期継続契約	静岡県立伊豆総合高等学校 高速カラー印刷機 賃借	高速カラー印刷機 賃借 (契約日) 令和7年4月1日	5,940,000							1,188,000	1,188,000	1,188,000	1,188,000	1,188,000	

(令和7年度)

(本校)

(令和7年9月30日現在)

区分	事業名又は契約名	内容	契約額	(契約年の年度別内訳)											
				2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度		
長期継続契約	静岡県立伊豆総合高等学校 電子複写機賃借	電子複写機賃借 (契約日) 令和2年4月1日	413,028	82,608	82,605	82,605	82,605	82,605							
長期継続契約	静岡県立伊豆総合高等学校 電子複写機賃借	電子複写機賃借 (契約日) 令和7年4月1日	674,520							134,904	134,904	134,904	134,904	134,904	

(令和7年度)

(分校)

(令和7年9月30日現在)

区分	事業名又は契約名	内容	契約額	(契約年の年度別内訳)				
				6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
長期継続契約	電子複写機賃借	電子複写機賃借 (契約日) 令和6年4月1日	489,060	97,812	97,812	97,812	97,812	97,812

□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(本校)

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は 面積	貸付料又は使用料		貸付又は使 用許可期間	貸付又は使用許可 を受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	伊豆市牧之郷 892	学校敷地	学校敷地	5本	1,500	7,500	R7.4.1～ R10.3.31	東京電力 パワーグリッド(株) 伊豆支社長	本柱1 支線3 小柱1
2	土地	学校敷地	伊豆市牧之郷 892	学校敷地	学校敷地	8本	1,500	12,000	R7.4.1～ R10.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	本柱2 支線6
3	土地	学校敷地	伊豆市牧之郷 892	学校敷地	学校敷地	411.84㎡	免除	免除	R4.4.1～ R9.3.31	伊豆総合高校 後援会長	校内公園
4	建物	事務所建	伊豆市牧之郷 892	事務所建	事務所建	6.60㎡	免除	免除	R5.4.1～ R8.3.31	伊豆総合高校 PTA会長	団体職員 執務場所
5	土地	学校敷地	伊豆市牧之郷 892	学校敷地	学校敷地	25.00㎡	免除	免除	R5.4.1～ R8.3.31	伊豆総合高校 PTA会長	団体職員 駐車場
6	土地	学校敷地	伊豆市牧之郷 892	学校敷地	学校敷地	139.86㎡	免除	免除	R7.4.1～ R12.3.31	伊豆総合高校 同窓会長	旧大仁高 記念碑
7	土地	学校敷地	伊豆市牧之郷 892	学校敷地	学校敷地	4.00㎡	330,000	330,000	R7.4.1～ R10.3.31	ダイドードリンコ 株式会社 東海営 業部	自動販売機
8	土地	学校敷地	伊豆市牧之郷 892	学校敷地	学校敷地	4.00㎡	607,333	607,333	R7.4.1～ R10.3.31	サントリービバレッ ジソリューション 株式会社	自動販売機
9	建物	事務所建	伊豆市牧之郷 892	事務所建	事務所建	4.00㎡	99,935	99,935	R7.4.1～ R10.3.31	伊東乳業株式会社	自動販売機
10	土地	学校敷地	伊豆市牧之郷 892	学校敷地	学校敷地	13.00㎡	免除	免除	R7.4.1～ R12.3.31	伊豆総合高校 郷土芸能部 保護者会長	郷土芸能部 所有トラック 駐車場
11	土地	学校敷地	伊豆市牧之郷 892	学校敷地	学校敷地	1本	1,500	1,500	R5.4.1～ R10.3.31	東京電力 パワーグリッド(株) 伊豆支社長	支線1
12	土地	その他 山林敷地	伊豆の国市田 中山字大芝原 1259	その他 山林敷地	その他 山林敷地	207.20㎡	免除	免除	R7.4.1～ R8.3.31	伊豆の国市長	林道
13	建物	事務所建	伊豆市牧之郷 892	事務所建	事務所建	18.00㎡	免除	免除	R5.4.1～ R8.3.31	伊豆総合高校 PTA会長	弁当等販売
14	土地	学校敷地	伊豆市牧之郷 892	学校敷地	学校敷地	120㎡	免除	免除	R7.4.1～ R8.3.31	伊豆市長	仮設道
15	土地	学校敷地	伊豆市牧之郷 892	学校敷地	学校敷地	9.65㎡	免除	免除	R7.4.1～ R8.3.31	伊豆市長	防災倉庫
16	建物	事務所建	伊豆市牧之郷 892	事務所建	事務所建	0.72㎡	免除	免除	R7.4.1～ R8.3.31	伊豆市長	防災備蓄資 機材保管
合 計								1,058,268			

行政財産貸付・使用許可調

(分校)

(令和7年9月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	伊豆市土肥870-1	学校敷地	学校敷地	5本	1,500	円 7,500	R4.4.1~ R9.3.31	東京電力 パワーグリッド(株) 伊豆支社長	本柱5
2	土地	学校敷地	伊豆市土肥870-1	学校敷地	学校敷地	2本	1,500	3,000	R4.4.1~ R9.3.31	東京電力 パワーグリッド(株) 伊豆支社長	本柱1 支線1
3	土地	学校敷地	伊豆市土肥870-1	学校敷地	学校敷地	2本	1,500	3,000	R5.4.1~ R10.3.31	東京電力 パワーグリッド(株) 伊豆支社長	本柱2
4	土地	学校敷地	伊豆市土肥870-1	学校敷地	学校敷地	4本	1,500	6,000	R7.4.1~ R12.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	本柱2 支線2
5	土地	学校敷地	伊豆市土肥870-1	学校敷地	学校敷地	22.40㎡	免除	免除	R7.4.1~ R8.3.31	伊豆市長	防災倉庫 避難地標識 給水タンク
6	土地	学校敷地	伊豆市土肥870-1	学校敷地	学校敷地	24.81㎡	免除	免除	R7.4.1~ R8.3.31	伊豆市長	地下道入口
7	土地	学校敷地	伊豆市土肥870-1	学校敷地	学校敷地	1.00㎡	免除	免除	R7.4.1~ R8.3.31	伊豆市長	街灯
8	土地	学校敷地	伊豆市土肥870-1	学校敷地	学校敷地	1.00㎡	免除	免除	R7.4.1~ R8.3.31	伊豆市長	カーブミラー
9	土地	学校敷地	伊豆市土肥870-1	学校敷地	学校敷地	1本	1,500	1,500	R4.4.1~ R9.3.31	東京電力 パワーグリッド(株) 伊豆支社長	支線1
10	建物	事務所建	伊豆市土肥870-1	事務所建	事務所建	1.00㎡	免除	免除	R7.4.1~ R8.3.31	伊豆市長	無線受信機
11	建物	事務所建	伊豆市土肥870-1	事務所建	事務所建	1.00㎡	免除	免除	R7.4.1~ R10.3.31	伊豆総合高校 土肥分校後援会長	公衆電話
12	土地	学校敷地	伊豆市土肥870-1	学校敷地	学校敷地	1.94㎡	免除	免除	R7.4.1~ R12.3.31	伊豆総合高校 土肥分校同窓会長	創立50周年 記念像
13	土地	学校敷地	伊豆市土肥870-1	学校敷地	学校敷地	9.00㎡	免除	免除	R6.4.1~ R9.3.31	沼津土木事務所長	土肥山川水位計 局舎敷地
14	建物	事務所建	伊豆市土肥870-1	事務所建	事務所建	4.33㎡	免除	免除	R5.4.1~ R8.3.31	伊豆総合高校 土肥分校PTA会長	弁当等販売所 設置
15	土地	学校敷地	伊豆市土肥870-1	学校敷地	学校敷地	2.00㎡	-	1,300	R6.10.1~ R9.3.31	ダイドードリンコ (株)東海営業部	自動販売機設置
16	建物	事務所建	伊豆市土肥870-1	事務所建	事務所建	1,798.12 ㎡	免除	免除	R7.11.7~ R7.11.9	伊豆市長	遺体収容所開設 運営訓練
17	土地	学校敷地	伊豆市土肥870-1	学校敷地	学校敷地	1.00㎡	免除	免除	R2.4.1~ R7.3.31	伊豆総合高校 土肥分校後援会長	生活館 送電用
18	土地	学校敷地	伊豆市土肥870-1	学校敷地	学校敷地	65.24㎡	免除	免除	R2.4.1~ R7.3.31	伊豆総合高校 土肥分校後援会長	生徒部室
19	土地	学校敷地	伊豆市土肥870-1	学校敷地	学校敷地	432.94㎡	免除	免除	R2.4.1~ R7.3.31	伊豆総合高校 土肥分校後援会長	舗装 中庭 門
20	土地	学校敷地	伊豆市土肥870-1	学校敷地	学校敷地	194.07㎡	免除	免除	R2.4.1~ R7.3.31	伊豆総合高校 土肥分校後援会長	生活館
21	土地	学校敷地	伊豆市土肥870-1	学校敷地	学校敷地	9530.68㎡	免除	免除	R7.2.19	伊豆市長	ヘリコプター離 発着訓練
合 計								22,300			

□□□□

普通財産・借受財産等貸付調

(本校)

(令和7年9月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	職員住宅敷地	伊豆市柏久保字下661-5	公舎敷地	宅地	3本	1,500	4,500	円 R7.4.1~ R8.3.31	東京電力 パワーグリッド(株) 伊豆支社長	本柱1 支線2
合計								4,500			

(分校)

(令和7年9月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	建物	雑屋建(借受財産)	伊豆市土肥870-1	学校敷地	学校敷地	24.75㎡	免除	免除	円 R7.4.1~ R10.3.31	伊豆市長	遺体収容施設物品保管
合計											

□□□□

### 職員公舎管理状況調

(本校)

(令和7年9月30日現在)

なし

(分校)

(令和7年9月30日現在)

整理番号	所在地	建築年月	構造	管理戸(室)数(A)	入居戸(室)数(B)	Bの内 他事務所 職員入居 戸(室)数	空屋戸(室)数(A-B)	摘要
1	伊豆市土肥 1232-4	H 2.3	RC3F 1棟	6	0	0	6	R 1. 7. 6より空家6戸
2	伊豆市八木沢 572	H 3.3	RC3F 1棟	6	0	0	6	R 2. 4. 1より空家6戸
	計			12	0	0	12	

□□□□

# 主要備品調

(令和7年9月30日現在)

整理番号	区分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	6-2	金属加工工作機器	NC工作機械 MAZAK製 QUICK TURN NEXUS150-2 300U他	機械工学：機械工作実習 年間81時間使用：3学年	H 22.2	円 44,100,000
2	6-2	金属加工工作機器	レーザー加工機 1式 Quattro1kw+PC (HP製)	機械工学：機械工作実習 年間90時間使用：2学年	H 29.3	31,536,000
3	6-2	金属加工工作機器	マシニングセンター MAZAK製 VERTICAL CENTER NEXUS410A-2他	機械工学：工業実習 年間81時間使用：3学年	H 22.2	31,080,000
4	5-7	その他の測量機器	加工・計測・ロボット化対応実習装置 FANUC ROBOTDRILL他	機械工学：機械工作実習 年間350時間使用：2、3学年	R 4.3	23,958,000
5	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	自動立面図作成装置 富士通PGT1568G3サーバー他	建築デザイン：CAD実習 年間472時間使用：全学年	H 22.3	23,656,500
6	2-2	その他の情報伝達機器	教材提示装置 アイ・オー・データ ワイド液晶ディスプレイ他	建築デザイン：製図、課題研究 年間335時間使用：全学年	R 4.3	22,550,000
7	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	情報応用実習装置 富士通TX1330M3サーバー他	電気電子：プログラミング実習 年間640時間使用：全学年	H 31.2	18,846,000
8	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	情報処理装置 富士通TX1330M4サーバー他	総合学科：商業、情報 年間544時間使用：全学年	R 4.3	18,810,000
9	5-99	試験実験機器	高電圧受電盤実習装置 京南電機KF-3030S他	電気電子：高圧受電実習 年間36時間使用：3学年	H 22.1	16,779,000
10	6-4	その他の電気電子機器	自動制御実習装置 PLC制御ユニット バイナスBSK-500PCⅢ他	電気電子：自動制御実習 年間165時間使用：全学年	R 4.2	16,500,000
11	6-9	木工用機械	木工プラント 木工旋盤他 14種	建築デザイン：木材加工実習 年間367時間使用：全学年	H 8.3	16,217,000
12	5-99	試験実験機器	マルチメディア通信実習装置 睦コーポレーションmodeIMDTTV-01	電気電子：通信設備実習 年間30時間使用：1、3学年	H 22.1	15,277,500
13	5-99	試験実験機器	内燃機関総合試験装置 GWE-70/150-P	機械工学：原動機実習 年間72時間使用：3学年	H 13.2	15,015,000
14	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	パソコンシステム 富士通PGT1568E3サーバー他	機械工学：生産技術 年間120時間使用：1学年	H 22.3	14,542,500
15	5-1	力学エネルギー機器	水力実験装置 機械研究 WD21P型他	機械工学：機械計測及び制御実習 年間75時間使用：3学年	H 11.2	14,490,000
16	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	自動設計製図装置 (CAD) 教員用生徒用PC/ソフトウェア	機械工学：実習、課題研究 年間105時間使用：3学年	R 6.2	13,992,000
17	5-99	試験実験機器	高電圧試験装置 パルス電子PIVG-200AS-CP他	電気電子：高圧受電実習 年間36時間使用：3学年	H 22.2	13,797,000
18	5-99	計測機器	三次元測定機 ミットヨCRYSTA-ApexS544他	機械工学：機械工作実習 年間72時間使用：1学年	H 31.2	13,089,600
19	5-3	電気試験計測機器	電動機・発電機実験装置 直流電動発電機実験装置 精工社MG-DD-220P他	電気電子：電気工事实習 年間156時間使用：2、3学年	R 4.3	12,716,000
20	5-99	試験実験機器	音響実習装置 バイナスLC-120EⅡ・DICOPR積層造形機	電気電子：課題研究加工作業 年間160時間使用：全学年	H 22.1	11,592,000

□□□□

## 職 員 調

(本校)

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
1	校 長	所 康 俊		□□□	□ 年 □ 月	□□□
2	副校長	平 岡 康 伸		□□□	□ 年 □ 月	□□□
3	教 頭	日 吉 正 幸	英語	□□□	□ 年 □ 月	□□□
4	事務長	長 岡 步 美		□□□	□ 年 □ 月	□□□
5	教 諭	中 田 亮	工業 (建築デザイン類型)	□□□	□ 年 □ 月	□□□
6	教 諭	池 田 力	数学	□□□	□ 年 □ 月	□□□
7	教 諭	山 本 重 典	国語	□□□	□ 年 □ 月	□□□
8	教 諭	小 林 綾 子	保健体育	□□□	□ 年 □ 月	□□□
9	教 諭	杉 田 一 子	英語	□□□	□ 年 □ 月	□□□
10	教 諭	安 井 健	英語	□□□	□ 年 □ 月	□□□
11	教 諭	佐 藤 晋	工業 (電気電子類型)	□□□	□ 年 □ 月	□□□
12	教 諭	中 林 ひ かる	理科	□□□	□ 年 □ 月	□□□
13	教 諭	安 田 能 章	保健体育	□□□	□ 年 □ 月	□□□
14	教 諭	望 月 省 吾	保健体育	□□□	□ 年 □ 月	□□□
15	教 諭	鈴 木 千 代 美	国語 (書道)	□□□	□ 年 □ 月	□□□
16	教 諭	辻 達 士	国語	□□□	□ 年 □ 月	□□□
17	教 諭	小 谷 安 孝	工業 (機械工学類型)	□□□	□ 年 □ 月	□□□
18	教 諭	水 野 絢 介	工業 (建築デザイン類型)	□□□	□ 年 □ 月	□□□
19	教 諭	石 渡 絢 子	家庭	□□□	□ 年 □ 月	□□□
20	教 諭	石 川 諒 馬	数学	□□□	□ 年 □ 月	□□□
21	教 諭	池 田 瑞 世	商業・情報	□□□	□ 年 □ 月	□□□
22	教 諭	野 本 容 巳	英語	□□□	□ 年 □ 月	□□□
23	教 諭	久 下 裕 生	工業 (機械工学類型)	□□□	□ 年 □ 月	□□□
24	教 諭	石 原 愛 海	国語	□□□	□ 年 □ 月	□□□
25	教 諭	杉 山 隆 俊	保健体育	□□□	□ 年 □ 月	□□□
26	教 諭	比 留 間 直 人	理科	□□□	□ 年 □ 月	□□□
27	教 諭	桑 原 英 利	国語	□□□	□ 年 □ 月	□□□
28	教 諭	高 田 国 周	理科	□□□	□ 年 □ 月	□□□
29	教 諭	加 藤 唯 美	数学	□□□	□ 年 □ 月	□□□
30	教 諭	宮 木 雄 河	地歴・公民	□□□	□ 年 □ 月	□□□
31	教 諭	岡 野 佑 奈	英語	□□□	□ 年 □ 月	□□□
32	教 諭	水 戸 部 恭 平	地歴・公民	□□□	□ 年 □ 月	□□□
33	教 諭	加 藤 一 誠	数学	□□□	□ 年 □ 月	□□□
34	教 諭	千 年 空	地歴・公民	□□□	□ 年 □ 月	□□□
35	教 諭	西 尾 公 彦	工業 (電気電子類型)	□□□	□ 年 □ 月	□□□
36	教 諭	山 田 栄 一	工業 (電気電子類型)	□□□	□ 年 □ 月	□□□
37	教 諭	杉 山 勲	工業 (機械工学類型)	□□□	□ 年 □ 月	□□□
38	教 諭	紅 林 達 哉	工業 (建築デザイン類型)	□□□	□ 年 □ 月	□□□
39	養護教諭	狩 野 美 和 子	養護	□□□	□ 年 □ 月	□□□
40	実習助手	清 水 祥	理科	□□□	□ 年 □ 月	□□□
41	実習助手	石 川 友 也	工業 (機械工学類型)	□□□	□ 年 □ 月	□□□
42	主 任	神 尾 則 子	会計・庶務	□□□	□ 年 □ 月	□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
43	主任	杉山和子	会計・庶務	□□□	□年□月	□□□
44	主任	村上わか奈		□□□	□年□月	□□□
45	主任	鈴木真弘	会計・庶務	□□□	□年□月	□□□
46	主任	山田巧	会計・管財	□□□	□年□月	□□□
平均年数					□年□月	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭	田中英史	商業・情報	□□□	□年□月	□□□
2	教諭	堀江永里子	英語	□□□	□年□月	□□□
3	教諭	山本あんな	芸術(音楽)	□□□	□年□月	□□□
4	非常勤講師	岩脇祐樹	国語	□□□	□年□月	□□□
5	非常勤講師	杉浦邦一	理科	□□□	□年□月	□□□
6	非常勤講師	杉山拓	芸術(美術)	□□□	□年□月	□□□
7	非常勤講師	長井いちほ	芸術(美術)	□□□	□年□月	□□□
8	非常勤講師	奥原雅子	芸術(書道)	□□□	□年□月	□□□
9	非常勤講師	山田早苗	英語	□□□	□年□月	□□□
10	非常勤講師	市川由美子	英語	□□□	□年□月	□□□
11	非常勤講師	陳浩	中国語	□□□	□年□月	□□□
12	非常勤講師	天座原ケイラスサナ	スペイン語	□□□	□年□月	□□□
13	非常勤講師	山口秀美	家庭	□□□	□年□月	□□□
14	非常勤講師	田神嘉子	家庭・福祉	□□□	□年□月	□□□
15	非常勤講師	小柳恵	福祉	□□□	□年□月	□□□
16	非常勤講師	山本久恵	福祉	□□□	□年□月	□□□
17	非常勤講師	石井勝美	商業・情報	□□□	□年□月	□□□
18	非常勤講師	吉川和輝	工業 (電気電子類型)	□□□	□年□月	□□□
19	非常勤講師	竹居寛信	自立活動	□□□	□年□月	□□□
20	外国語指導講師	ローリーボイド	英語	□□□	□年□月	□□□
21	ジョブサポーター	鈴木和子	職業指導	□□□	□年□月	□□□
22	スクールカウンセラー	加藤好子	教育相談	□□□	□年□月	□□□
23	主事	川口恵子	会計・庶務	□□□	□年□月	□□□
24	非常勤労務職員	小永井宏	用務	□□□	□年□月	□□□
25	非常勤労務職員	佐伯充祥	用務	□□□	□年□月	□□□
26	非常勤労務職員	山村昌広	用務	□□□	□年□月	□□□
27	学校医	村田純一	内科	□□□	□年□月	□□□
28	学校医	土屋素子	内科	□□□	□年□月	□□□
29	学校医	宇野明彦	眼科	□□□	□年□月	□□□
30	学校医	佐藤隆夫	耳鼻科	□□□	□年□月	□□□
31	学校歯科医	石井康彦		□□□	□年□月	□□□
32	学校薬剤師	佐藤輝樹		□□□	□年□月	□□□

□□□□

## 職 員 調

(分校)

(令和7年9月30日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	副校長	佐々木 亮		□□□	□年□月	□□□
2	教頭	西川 孝治	保健体育	□□□	□年□月	□□□
3	教諭	土屋 悟	地歴・公民	□□□	□年□月	□□□
4	教諭	大橋 康二	理科	□□□	□年□月	□□□
5	教諭	瀧口 俊一	保健体育	□□□	□年□月	□□□
6	教諭	倉田 安德	商業	□□□	□年□月	□□□
7	教諭	大谷 光	英語	□□□	□年□月	□□□
8	教諭	山本 光紗		□□□	□年□月	□□□
9	教諭	深沢 航平	数学	□□□	□年□月	□□□
10	教諭	内田 樹	商業・情報	□□□	□年□月	□□□
11	教諭	宮城 穂奈美	家庭	□□□	□年□月	□□□
12	教諭	大友 亜華里	国語	□□□	□年□月	□□□
13	主任	古澤 尚之	会計・管財	□□□	□年□月	□□□
14	主任	山口 昇輝	会計・庶務	□□□	□年□月	□□□
平均年数					□年□月	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	養護教諭	芹澤 未佳	養護	□□□	□年□月	□□□
2	非常勤講師	佐藤 和枝	国語	□□□	□年□月	□□□
3	非常勤講師	奥原 雅子	書道	□□□	□年□月	□□□
4	非常勤講師	高田 郁子	美術	□□□	□年□月	□□□
5	非常勤講師	原 優季葉	音楽	□□□	□年□月	□□□
6	非常勤講師	大川 博保	商業	□□□	□年□月	□□□
7	非常勤講師	山田 直美	自立活動	□□□	□年□月	□□□
8	非常勤労務職員	山口 直希	用務	□□□	□年□月	□□□
9	非常勤労務職員	山口 明子	用務	□□□	□年□月	□□□
10	スクールカウンセラー	西川 知子	カウンセリング	□□□	□年□月	□□□
11	スクールソーシャルワーカー	柏木 多恵子	社会福祉支援	□□□	□年□月	□□□
12	兼務講師	高田 国周	理科	□□□	□年□月	□□□
13	兼務講師	小林 祐輝	物理	□□□	□年□月	□□□
14	学校医	佐藤 博史	内科医	□□□	□年□月	□□□
15	学校医	紀 平章代	眼科医	□□□	□年□月	□□□
16	学校医	佐藤 隆夫	耳鼻科医	□□□	□年□月	□□□
17	学校医	鈴木 基志	歯科医	□□□	□年□月	□□□
18	学校薬剤師	諏訪 正彦	薬剤師	□□□	□年□月	□□□

□□□□

## 職 員 の 年 齢 調

(本校)

(令和7年9月30日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	6 人	
30歳以上40歳未満	14 人	
40歳以上50歳未満	5 人	
50歳以上56歳未満	4 人	
56歳以上61歳未満	9 人	
61歳以上	8 人	再任用7人
計	46 人	平均年齢 45.8歳

(分校)

(令和7年9月30日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	4 人	
30歳以上40歳未満	4 人	
40歳以上50歳未満	2 人	
50歳以上56歳未満	1 人	
56歳以上61歳未満	1 人	
61歳以上	2 人	再任用2人
計	14 人	平均年齢 41.2歳

## 健康管理

(本校)

### 1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 47 人 職員数 51 人
受 診 率	100 %
県平均受診率	100 %

(1) 未受診の理由  
育児休業 4人

### 2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		3(2)人
B1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B2		要経過観察	0人
C1	勤務をほぼ平常に行ってもよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	2(1)人
C2		要経過観察	0人
D1	平常の勤務でよい。	要 治 療	16(5)人
D2		要経過観察	13(2)人
D3		医 療 不 要	8(1)人
区 分 者 計			42人
未 区 分 者 数			4人
合 計			46人

(1) 管理区分A～C2該当者に対する措置状況  
A：主治医の指示に従い受診継続し休職中  
C1：主治医により経過観察・加療中であり、ほぼ平常の勤務が可能。

(2) 未区分の理由  
ア 産休・育休 4人  
イ 新規採用 0人  
ウ 自己都合による未受診 0人  
エ その他 ( ) 0人

□□□□

(分校)

## 健康管理

### 1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 13 人
	職員数 13 人
受 診 率	100 %
県平均受診率	100 %

(1) 未受診の理由

### 2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0 人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0 人
B 2		要経過観察	0 人
C 1	勤務をほぼ平常に行っておりが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0 人
C 2		要経過観察	0 人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	1 (1) 人
D 2		要経過観察	6 (6) 人
D 3		医 療 不 要	6 (6) 人
区 分 者 計			13 人
未区分者計			1 人
合 計			14 人

(1) 管理区分A～C 2 該当者  
に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 人  
イ 新規採用 1人  
ウ 自己都合による未受診 人  
エ その他 人  
( )